TOSHIBA
Leading Innovation >>>

WT301/Dシリーズ

取扱説明書

マニュアルの使いかた

安心してお使いいただくために

- パソコンをお取り扱いいただくための注意事項
  ご使用前に必ずお読みください。

取扱説明書（本書）

- パソコンの準備
- 各部の名前
- Windowsのセットアップ
- 電源の切りかた
- 電源の入れかた
- リカバリー（再セットアップ）
- Q&A集

など

オンラインマニュアル

Windowsが起動しているときにパソコンの画面上で見るマニュアルです。

- パソコンを買い替えたとき
- パソコンの基本操作
- ネットワーク機能
- 周辺機器の接続
- バッテリー駆動で使う方法
- システム環境の変更

など

リリース情報

- 本製品を使用するうえでの注意事項など
  必ずお読みください。

参照 「はじめに- 7 リリース情報について」

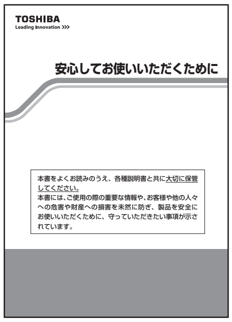
もくじ

『オンラインマニュアル』もあわせてご覧ください。
参照 「1章 6-2 パソコンの画面で見るマニュアル」

はじめに

このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。
本書や『安心してお使いいただくために』は、お読みになったあと、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

必ずお読みください。



本書は、次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

危険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	このマニュアルやほかのマニュアルへの参照先を示します。 ● このマニュアルへの参照の場合…「　」 ● ほかのマニュアルへの参照の場合…『　』

＊1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど（高温・低温）、感電などをさします。
＊3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

2 用語について

本書では、次のように定義します。

システム

特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

WindowsまたはWindows 7

特に説明がない場合は、Windows® 7 Professionalを示します。

Bluetooth機能搭載モデル

Bluetooth機能を搭載しているモデルを示します。

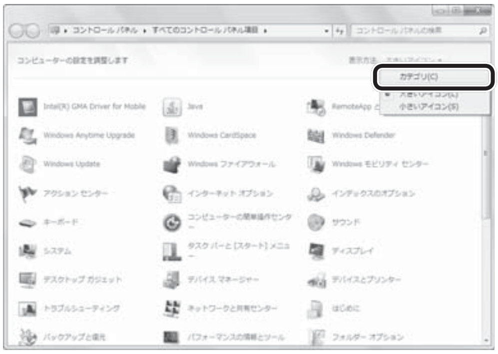
デジタイザーペン

モデルによって付属している、ペン軸にボタンが付いているタイプのペンを示します。

ご購入のモデルの仕様については、『＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

3 記載について

- 記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊モデルの場合」や「＊＊＊＊シリーズのみ」などのように注記します。
- インターネット接続については、ブロードバンド接続を前提に説明しています。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは内蔵フラッシュメモリや付属のCD／DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書では、コントロールパネルの操作方法について、表示方法を「カテゴリ」に設定していることを前提に説明しています。
  画面右上の［表示方法］が「大きいアイコン」または「小さいアイコン」になっている場合は、「カテゴリ」に切り替えてから操作説明を確認してください。



（表示例）

- 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
- 本書は、語尾をのばすカタカナ語の表記において、語尾に長音（ー）を適用しています。
  画面の表示と異なる場合がありますが、読み換えてご使用ください。
- 本書では、専用のペンによる操作と、指でディスプレイに触れる操作を、どちらも「タッチ」と表現しています。

4 Trademarks

- Microsoft、Windows、Windows Live、Windows Media、Aero、Excel、MSN、OneNote、Outlook、PowerPoint、SkyDriveは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
  その他記載されている会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- Intel、インテルは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標、または登録商標です。
- SDロゴは商標です。（ ）
- HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC.の登録商標または商標です。
- ConfigFreeは、株式会社東芝の登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標ならびに登録商標です。
- TRENDMICRO、ウイルスバスター、ウイルスバスタークラウドはトレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- 「PC引越ナビ」は、東芝パソコンシステム株式会社の商標です。
- Javaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/i-フィルターはデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- Evernoteは、米EVERNOTE社の登録商標です。
- 「Yahoo!」は、Yahoo!Inc.の登録商標です。
  ヤフー株式会社は、これに関する権利を有しています。
- Bluetoothは、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。

本書に掲載の商品の名称やロゴは、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

5 プロセッサ（CPU）に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ（CPU）の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- 周辺機器を接続して本製品を使用する場合
- ACアダプターを接続せずバッテリー駆動にて本製品を使用する場合
- マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
- 本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
- 複雑な造形に使用するソフト（たとえば、運用に高性能コンピューターが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト）を本製品上で使用する場合
- 気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
  目安として、標高1,000メートル（3,280フィート）以上をお考えください。
- 目安として、気温5～30℃（高所の場合25℃）の範囲を超えるような外気温の状態で本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPUの処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。
また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。
これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。
なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。

このほかの使用制限事項につきましては各種説明書をお読みください。また、詳細な情報については東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

6 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

7 リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。
必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

① ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［はじめに］→［リリース情報］をタッチする

8 お願い

- 内蔵フラッシュメモリにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- Windows標準のシステムツールまたは本書に記載している手順以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 内蔵フラッシュメモリにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品の画像データは、本製品上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種（型番）を確認後、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。有料にてパスワードを解除します。この場合、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。
- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワードの設定や、無線LANの暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。
  セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社はいっさいの責任を負いません。
- 「ウイルスバスター」を使用している場合、ウイルス定義ファイルなどは、新種のウイルスやワーム、スパイウェア、クラッキングなどからコンピューターを保護するためにも、常に最新の状態で使用する必要があります。本製品に用意されている「ウイルスバスター」は、インターネットに接続していると自動的に最新の状態に更新されますが、90日間の使用制限があります。90日を経過するとウイルスチェック機能を含めて、すべての機能がご使用できなくなります。
  ウイルスチェックが全く行われない状態となりますので、必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを導入してください。
- ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と『ソフトウェアに関する注意事項』、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。リカバリーを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。
- 『東芝保証書』は、記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本製品のお客様登録（ユーザー登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。当社ホームページで登録できます。

参照 詳細について『オンラインマニュアル』

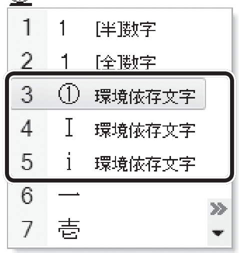
9 ［ユーザーアカウント制御］画面について

操作の途中で［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、そのメッセージを注意して読み、開始した操作の内容を確認してから、画面の指示に従って操作してください。
パスワードの入力を求められた場合は、管理者アカウントのパスワードで認証を行ってください。

10 環境依存文字について

環境依存文字とは、入力した文字を漢字へ変換するときに表示される候補の右側に「環境依存文字」または「環境依存文字（unicode)」と表示されるものです。

①



（表示例）

ユーザーアカウント名やフォルダー名に環境依存文字が含まれていると、ファイルの読み込みや保存などが正常に動作しないことがあります。
ファイル名やファイル内の文字列に環境依存文字が含まれていると、ファイル名が「?」などのように正しく表示されず、正常に動作しないことがあります。
また、アプリケーション上でファイルの編集中に入力した文字列に環境依存文字が含まれていると、作成したファイル上で正しく表示されないことがあります。
このような場合には、環境依存文字を含まない文字列に変更してください。
CD／DVDなどの記録メディアにデータを書き込むときは、環境依存文字が含まれていないことをあらかじめ確認してから作業を行ってください。

1 章

パソコンの準備

この章では、パソコンの置き場所、Windowsのセットアップ、電源の切りかた／入れかたなど、お買い上げいただいてから実際に使い始めるまでの準備と、本体各部の名前や基本的な使いかたについて説明しています。
また、本製品でご用意しているマニュアルについて説明しています。

1 使う前に確認する

1 箱を開けたらまずはこれから

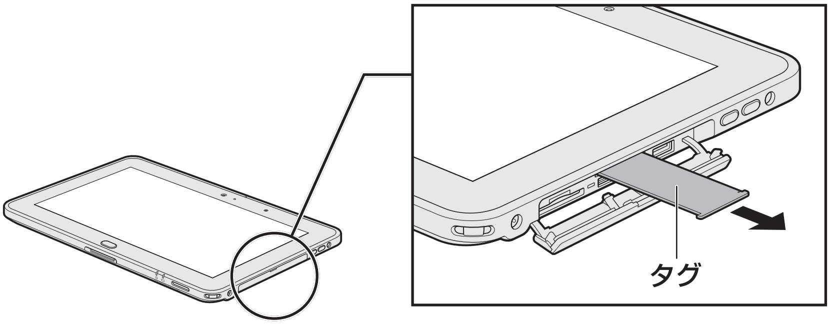
■箱の中身の確認

『＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照して、付属品がそろっているか、確認してください。足りない物がある場合や、破損している物がある場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

参照 東芝PCあんしんサポート『東芝PCサポートのご案内』

■型番と製造番号を確認

本体の側面のカバーをはずしたところにセットされているタグに、型番と製造番号が記載されています。保証書に同じ番号が記載されていることを確認してください。番号が違う場合や、不備があった場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。



お願い

- タグは、強く引っぱりすぎないようにしてください。
- タグには、正規のWindowsであることを証明する、Microsoft®の「Certificate of Authenticity」というラベルが貼ってあります。はがしたり汚したりしないでください。
- ラベルは、タグの両面に貼られている場合があります。

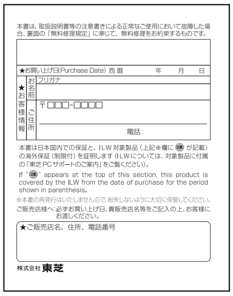
2 忘れずに行ってください

■はじめに

ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と『ソフトウェアに関する注意事項』、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。

■保証書は大切に保管

故障やトラブルが起こった場合、保証書があれば保証期間中（保証期間については保証書を確認してください）は東芝の無料修理サービスが受けられます。
保証書に記載の内容を読んで、確認したあと、大切に保管してください。


本書は、取扱説明書等の注意書きによる正常なご使用において故障した場合、裏面の「無料修理規定」に準じて、無料修理をお約束するものです。

★お買い上げ日(Purchase Date) 西暦　年　月　日
★お客様情報
お名前　フリガナ
ご住所　〒□□□-□□□□
電話：

本書は日本国内での保証と、ILW対象製品（上記※欄に ILW が記載）の海外保証（制限付）を証明します（ILWについては、対象製品に付属の「東芝PCサポートのご案内」をご覧ください）。
If "ILW" appears at the top of this section, this product is covered by the ILW from the date of purchase for the period shown in parenthesis.
※本書の再発行はいたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
ご販売店様へ：必ずお買い上げ日、貴販売店名等をご記入の上、お客様にお渡しください。
★ご販売店名、住所、電話番号
株式会社 東芝

■海外保証を受けるには

海外で使用するときは「海外保証（制限付）」（ILW:International Limited Warranty）により、海外の所定の地域で、保証書に記載の無料修理規定および制限事項・注意事項の範囲内で修理サービスを利用できます。
利用方法、保証の詳細は、『東芝PCサポートのご案内』の記載内容および保証書に記載の無料修理規定を読んで、確認してください。

■Product Keyは大切に保管

本製品には、パソコン用基本ソフト（OS）としてマイクロソフト社製のWindowsが搭載されています。このWindowsにそれぞれ割り当てられている管理番号を「Product Key」といいます。Product Keyは型番と製造番号が記載されているタグに貼られている、Microsoft® の「Certificate of Authenticity」というラベルに印刷されています。
このラベルは絶対になくさないようにしてください。再発行はできません。
紛失した場合、マイクロソフト社からの保守サービスが受けられなくなります。

3 最適な場所で使う

人間にとって住みやすい温度と湿度の環境が、パソコンにも最適な環境です。
次の点に注意して置き場所、使う場所を決めてください。

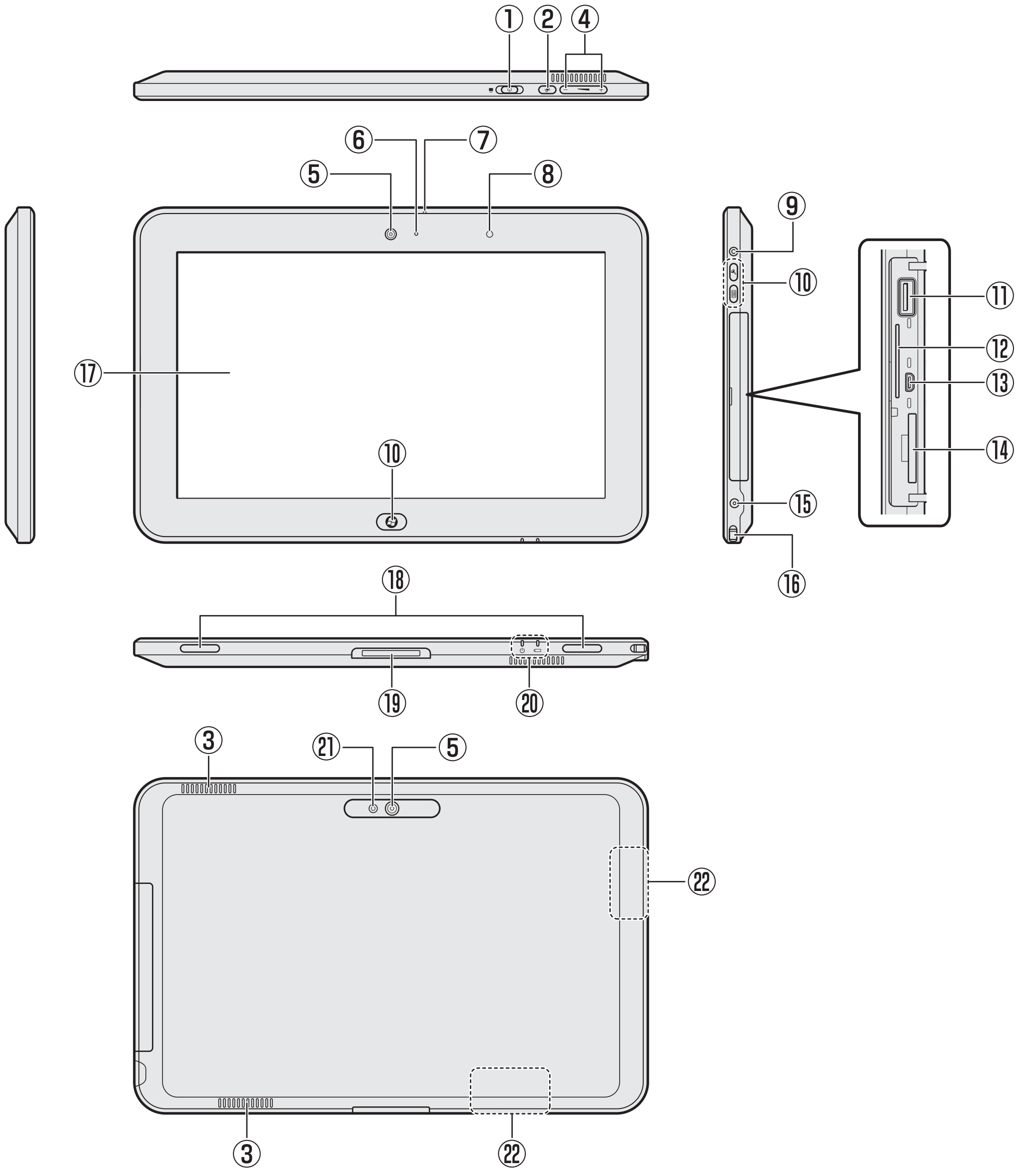
- 安定した場所に置きましょう。
  不安定な場所に置くと、パソコンが落ちたり倒れたりするおそれがあり、故障やけがにつながります。
- 温度や湿度が高いところは避けましょう。
  暖房や加湿器の送風が直接あたる場所はよくありません。
- 強い磁気を発するものの近くで使用しないでください。
  磁石はもちろん、スピーカー、テレビの近くは磁気の影響を受けます。磁気ブレスレットなどもパソコンを使用するときははずすようにしましょう。
- 照明や日光があたる位置も考慮しましょう。
  照明や日光が直接ディスプレイにあたると、反射して画面が見づらくなります。
- ラジオやテレビの近くで使用しないでください。
  ラジオやテレビの受信障害を引き起こすことがあります。
- 無線通信装置から離してください。
  携帯電話も無線通信装置の一種です。
- パソコンの通風孔をふさがないように置きましょう。
  通風孔はパソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。ふさぐと、パソコン本体内部が高温となるため、本来の性能を発揮できない原因や故障の原因となります。

2 各部の名称
ー外観図ー

ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。
それぞれの詳細は、各参照ページや『オンラインマニュアル』を確認してください。

お願い 外観図について

- 本製品に表示されている、コネクタ、LED、スイッチのマーク（アイコン）は最大構成を想定した設計となっています。ご購入いただいたモデルによっては、機能のないものがあります。ご購入のモデルの仕様については、『＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。



①電源スイッチ（P.25、42）

②オリエンテーションロックボタン
画面が縦や横に回転しないように、向きを固定するスイッチです。

③通風孔
パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。
ふさがないでください。

④音量ボタン（音量小ボタン、音量大ボタン）
音量を調整します。

⑤Webカメラ（前面、背面）
写真や動画を撮影するためのものです。

⑥WebカメラLED

⑦マイク

⑧照度センサー
この部分に本体液晶ディスプレイの明るさを自動調整するためのセンサーが内蔵されています。

⑨ヘッドセット/ヘッドホン端子
ヘッドセット／ヘッドホンを接続します。

⑩ボタン（P.17）

⑪USBコネクタ
USB対応機器を接続します。

⑫タグスロット

⑬microHDMI出力端子
microHDMIケーブルを接続して、HDMI入力対応機器（テレビ、プロジェクターなど）に本製品の映像を表示します。

⑭ブリッジメディアスロット
SDメモリカード、マルチメディアカードなどをセットします。

⑮電源コネクタ（P.24）

⑯スモール セキュリティ スロット

⑰ディスプレイ

⑱スピーカー

⑲ドッキングポート
東芝製オプションのポート拡張クレードルを接続することができます。

⑳システムインジケーター（P.18）

㉑Webカメラ フラッシュLED

㉒この部分に無線LANとBluetoothのアンテナが内蔵されています（BluetoothはBluetooth機能搭載モデルのみ）。

お願い 本製品の本体について

■ **本製品の通風孔について**

- 通風孔は、パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。
  通風孔を通して外の空気を取り込んだり、内部の空気を排出したりすることでパソコン内部に熱がこもるのを防いでいます。
  通風孔をふさがないでください。
  通風孔の表面上のほこりは、やわらかい布でふき取ってください。通風孔の内部にほこりが入ったときは、保守サービスに点検を依頼してください。この場合、有料となります。

■ **画面／スイッチ／ボタンの操作にあたって**

- あらかじめ、「付録 1 - 1 パソコン本体について」を確認してください。

■ **機器への強い衝撃や外圧について**

- あらかじめ、「付録 1 - 1 - 機器への強い衝撃や外圧について」を確認してください。

1 ボタン

ボタンを使用すると簡単に操作ができます。操作するボタンを押してください。

■ **ディスプレイ下部**

■ **右側面**

	Windowsボタン	［スタート］メニューを表示します。
	キーボードボタン	ボタンを1回押すと、Tablet Keyboardを表示します。 ボタンを2回押すと、Tablet Touch Padを表示します。
	Windowsセキュリティタブレットボタン	ボタンを2回押すと、*Ctrl*＋*Alt*＋*Del*キーと同じ機能を持ち、［このコンピューターのロック］や［ユーザーの切り替え］などを選択する画面が表示されます。

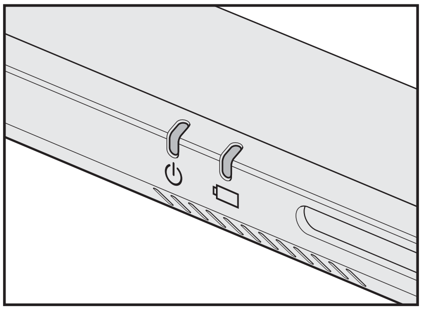
ボタンの機能を変更するには

ボタンに割り当てられている機能は「東芝ボタンサポート」で変更できます。
「東芝ボタンサポート」の起動方法は次のとおりです。

① ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［ユーティリティ］→［ボタンサポート］をタッチする
② ボタンにアプリケーションを割り当てる

2 システムインジケーター

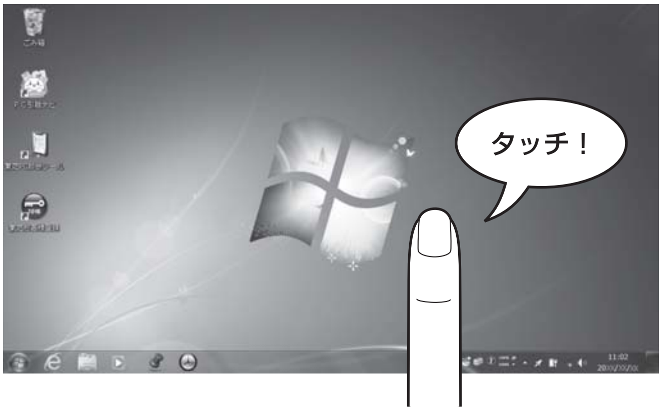
システムインジケーターは、点灯状態によって、本製品がどのような動作をしているのかを知ることができます。



⏻	Power LED	電源の状態 参照 P.43
▭	DC IN/Battery LED	バッテリーの状態 参照 P.43

3 画面にタッチして操作する

本製品では、画面の表面をタッチすることによって、さまざまな操作を行うことができます。
マウスやキーボードを使うことなく、画面をタッチしてアイコンを選択したり、画面をスクロールしたりします。
ここでは、ペンまたは指を使った基本的な操作を説明します。
なお、本書および『オンラインマニュアル』に記載している画面は、次のイラストのように横長に表示した場合（横置き）を例に説明します。
本項では指を使った場合を例に説明しています。ペンを使用する場合も、操作内容は同じです。



（表示例）

1 選択する（タッチ）

アイコン、文字などを選択するには、目的のアイコンやウィンドウなどを１回軽くタッチします。
アイコンなどを選択すると、色が変わります。



（表示例）

＜タッチする前＞



＜タッチした後＞



❏ダブルタッチ

ダブルタッチすると、ファイルを開いたりアプリケーションを起動できます。
目的の位置を、すばやく２回タッチします。



（表示例）

❏プレス アンド ホールド

プレス アンド ホールドすると、メニューが表示され、そこから行いたいことをタッチして選択できます。①ペンまたは指を画面上の目的の位置におき、数秒そのままにします。



（表示例）

②ペンまたは指を置いている所に輪が表示されます。



③ペンまたは指をはなすとメニューが表示されます。

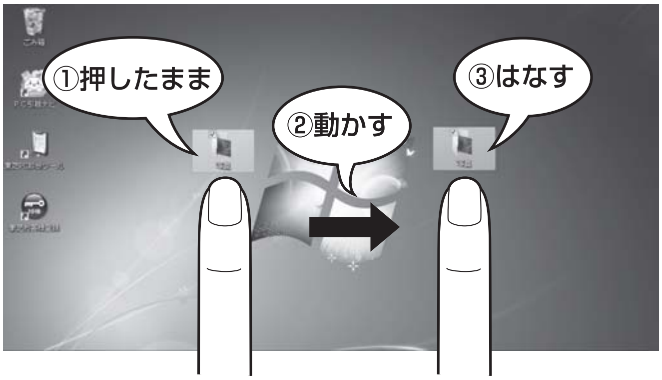


（表示例）

④表示されたメニューから目的の操作をタッチして実行できます。

❏ ドラッグ アンド ドロップする

ドラッグ アンド ドロップをすると、アイコンやウィンドウを移動したり、複数の文字やアイコンを選択したりできます。
アイコンやウィンドウを移動する場合は、目的のアイコンなどに合わせて、ペンまたは指を画面につけて①、そのまますべらせます②（ドラッグ）。アイコンなどが目的の位置に移動したら、ペンまたは指をはなします③（ドロップ）。



（表示例）

メモ

- 専用のペンまたは指以外（ボールペンなど）で、代わりに操作することはできません。

役立つ操作集

デジタイザーペンが付属しているモデルの場合、ペン軸にはボタンが付いています。このボタンを使うと、次のような操作ができます。

- 消しゴム　：「ペイント」などの一部アプリケーション上で、ペンのボタンを長押ししてからタッチすると、消しゴムとして使用できます。
- 右クリック：ペンのボタンを長押ししてからタッチすると、マウスで右クリックした時と同様に、ポップアップメニューなどが表示されます。

お願い　ペンの使用にあたって

- あらかじめ、「付録 1 - 6 ペンの取り扱いと手入れ」を確認してください。

4 Windows（ウィンドウズ）を使えるようにする

1 Windowsセットアップ

初めて電源を入れたときは、Windowsのセットアップを行います。
Windowsのセットアップは、パソコンを使えるようにするために必要な操作です。
作業を始める前に、付属の冊子『安心してお使いいただくために』を必ず読んでください。特に電源コードやACアダプターの取り扱いについて、注意事項を守ってください。

1 操作の流れ

パソコンの準備

- 電源コードとACアダプターを接続する
- ▼
- 電源を入れる

▼

電源を入れてから

- 国または地域を確認する
- ▼
- ユーザー名とコンピューター名を入力する
- ▼
- パスワードを入力する
- ▼
- ライセンス条項に同意する
- ▼
- Windowsの保護の設定をする
- ▼
- 日付と時刻の設定を確認する
- ▼
- セットアップ完了

お願い セットアップをするときの注意

■ **周辺機器は接続しないでください**

- セットアップはACアダプターと電源コードのみを接続して行います。
  セットアップが完了するまでは、プリンター、マウスなどの周辺機器は接続しないでください。

参照 機器の取りはずし『オンラインマニュアル』

■ **途中で電源を切らないでください**

- セットアップの途中で電源スイッチをオリエンテーションロックボタン側にスライドしたり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり、修理が必要となることがあります。

■ **操作は時間をあけないでください**

- セットアップ中に入力が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。
  しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
  もう一度表示するには、画面をタッチしてください。
  画面をタッチしても復帰せず、Power ⏻ LEDが点滅または消灯している場合は、電源スイッチをオリエンテーションロックボタン側にスライドしてください。

2 電源コードとACアダプターを接続する

⚠警 告

- **ACアダプターは本製品に付属のものを使用する**
  本製品付属以外のACアダプターを使用すると電圧や（＋）（－）の極性が異なっていることがあるため、火災・破裂・発熱のおそれがあります。
- **パソコン本体にACアダプターを接続する場合、本書に記載してある順番を守って接続する**
  順番を守らないと、ACアダプターのDC出力プラグが帯電し、感電またはけがをする場合があります。
  また、ACアダプターのプラグをパソコン本体の電源コネクタ以外の金属部分に触れないようにしてください。

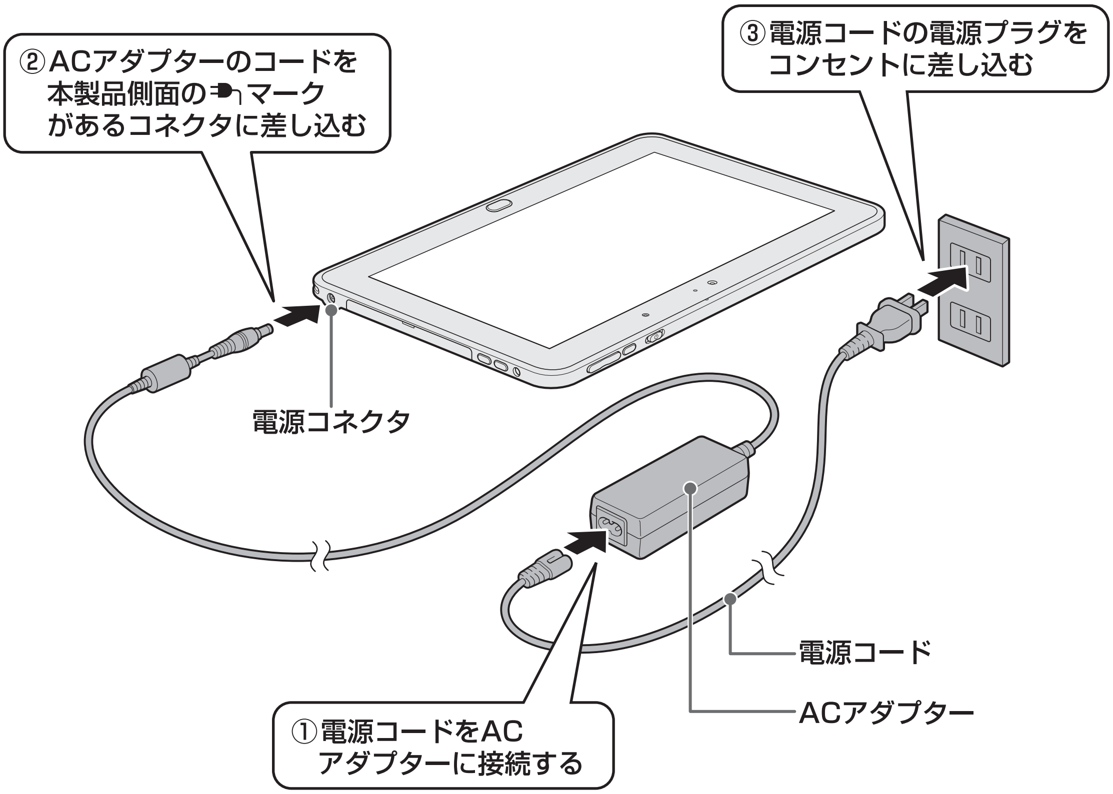
⚠注 意

- **付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター以外には使用しない**
  付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター専用です。

お願い 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- あらかじめ、「付録 1 - 2 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて」を確認してください。

次の図の①→②→③の順で行ってください。



接続すると

DC IN/Battery LEDがオレンジ色（電源OFF時）に点灯し、バッテリーへの充電が自動的に始まります。DC IN/Battery LEDが白色（電源OFF時）に点灯したら、充電完了です。

参照 DC IN/Battery LED『オンラインマニュアル』

メモ

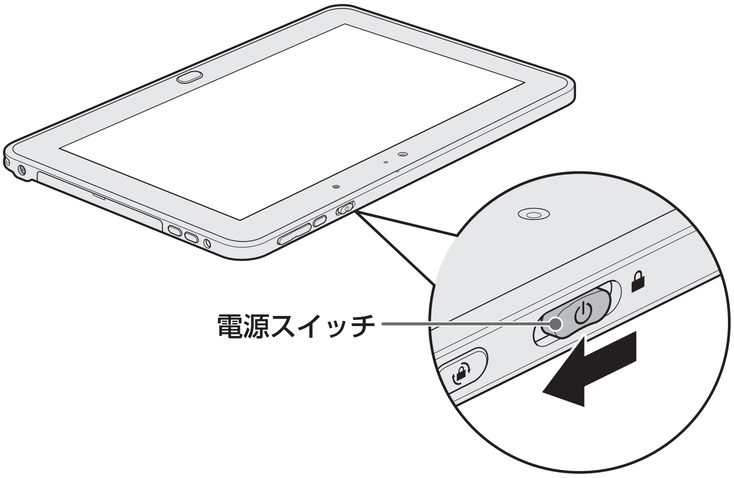
- バッテリー充電中でもパソコンを使用することができます。

参照 詳細について『オンラインマニュアル』

3 電源を入れる

1 電源スイッチをオリエンテーションロックボタン側にスライドし、指をはなす

確実に電源スイッチをスライドしてください。
Power ⏻ LEDが白色に点灯することを確認してください。



これで本製品の準備は完了です。
続いてWindowsのセットアップに進みます。

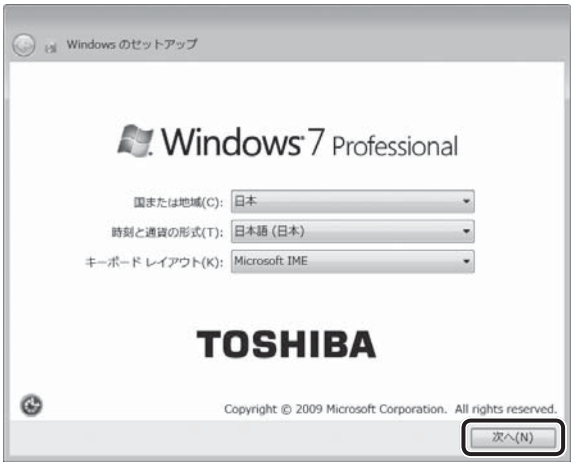
メモ

- 電源スイッチをロックアイコン（🔒）側にスライドすると、電源スイッチが固定されて電源ONまたはOFF状態が保持されます。

4 Windowsのセットアップ

セットアップには約10〜20分かかります。

1 ［国または地域］欄に「日本」と表示されていることを確認し、［次へ］ボタンをタッチする



（表示例）

ユーザー名とコンピューター名を入力する画面が表示されます。

次の手順の前に「ユーザー名」とは

ユーザー名は、Windowsを使用しているユーザーをパソコン側で識別するための名前です。

次の手順では、管理者ユーザーのユーザー名を登録します。
管理者ユーザーとは、ネットワークやコンピューターを管理する権限を持つユーザーのことです。複数のユーザーで1台のパソコンを使用する場合、管理者ユーザーは、ほかのユーザーに対して使用制限の設定も行えます。

管理者以外のユーザーは、Windowsのセットアップ後に登録できます。

メモ　Windowsキーボード

Windowsセットアップで文字や記号を入力するときは、Windowsキーボードを使用します。画面にキーボードが表示されるので、入力したい文字や記号のキーをタッチしてください。

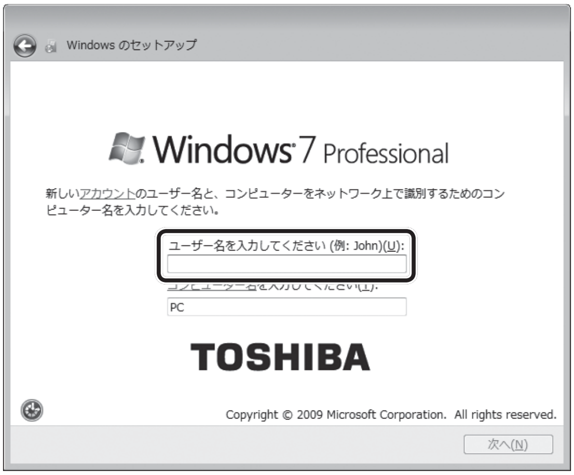


Windowsキーボードは、Windowsセットアップの画面の上に表示されることがあります。その場合は、ドラッグ アンド ドロップして表示位置を動かすこともできます。表示位置を動かすときは、上図点線で囲まれた部分をドラッグしてください。

2 ユーザー名を入力する

［ユーザー名を入力してください］と書いてある下の欄に、Windowsキーボードをタッチして管理者ユーザーの名前を入力してください。**ユーザー名は、半角英数字で入力してください。**

「｜」（カーソル）が表示されている位置から文字の入力ができます。



（表示例）

画面に表示されているキーボードをタッチして、ユーザー名を入力してください。

「toshiba」と入力するときは、キーボードで［t］［o］［s］［h］［i］［b］［a］とタッチします。

■ユーザー名に使えない文字

ユーザー名を入力するとき、次の文字を使用しないでください。

CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、@、（スペース）

■キーをタッチしても表示されないときは

キーをタッチしても文字が表示されない場合は、入力欄に「｜」（カーソル）が点滅しながら表示されていることを確認してください。表示されている位置から文字を入力できます。表示されていないときは、［ユーザー名を入力してください］の下の欄をタッチしてください。

■入力を間違えたときは

入力を間違えたときは次の操作で文字を削除して、もう一度入力しましょう。

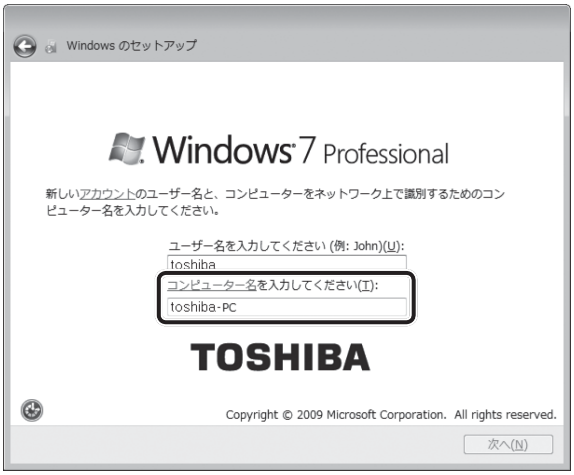
- カーソルの左側の文字を削除する .... ［Bksp］キーをタッチする
- カーソルの右側の文字を削除する .... ［Del］キーをタッチする

次の手順の前に「コンピューター名」とは

コンピューターに名前をつけるのは、使用するパソコンをほかのパソコンと区別するためです。ネットワークに接続する場合は、必ず設定してください。

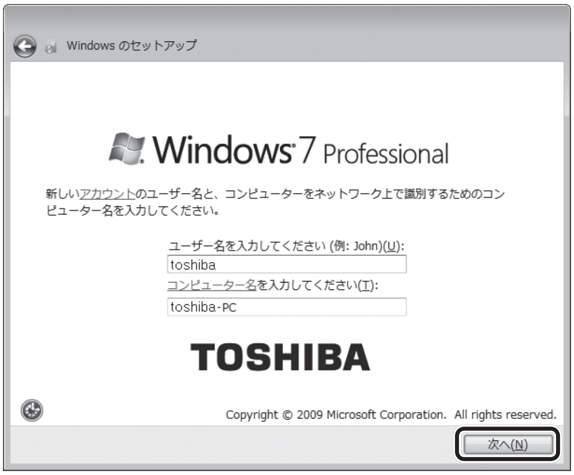
3 コンピューター名を入力する

ユーザー名を入力すると自動的に入力されます。
変更する場合は、[コンピューター名を入力してください]と書いてある下の欄に、半角英数字で任意の文字列を入力してください。**半角英数字以外は使用しないでください**。また、同じネットワークに接続するコンピューターとは別の名前にしてください。



（表示例）

4 ［次へ］ボタンをタッチする



（表示例）

パスワードを設定する画面が表示されます。

次の手順の前に「パスワード」（Windowsログオンパスワード）とは

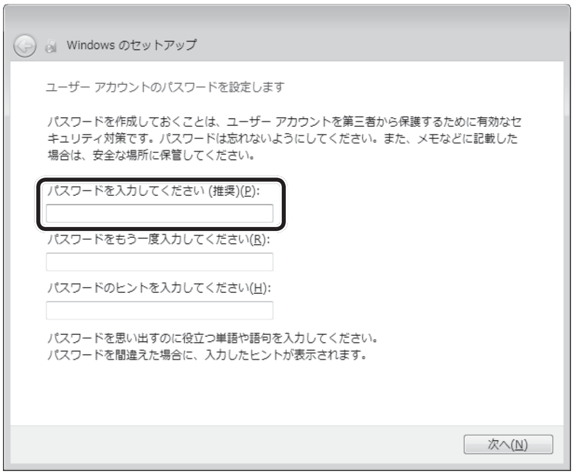
パスワードとは、それを入力しないと次のステップに進めないようにできる、特定の文字列です。
ここでは、Windowsを起動するときに入力しないと、Windowsを起動できないようにするためのパスワードを設定します。これを「Windowsログオンパスワード」と呼びます。

お願い

- パスワードを忘れると、Windowsを起動するためには、「リカバリー」という、購入時の状態に戻す処理をするしか、方法がなくなってしまいます。その場合、購入後にパソコンに保存したデータやアプリケーションなどはすべて消失するので、パスワードは忘れないようにしてください。

5 パスワードを入力する

［パスワードを入力してください］と書いてある下の欄に、Windowsログオンパスワードとして設定したい文字を入力してください。
Windowsログオンパスワードは半角英数字で127文字まで設定できますが、8文字以上で設定することを推奨します。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。
Windowsログオンパスワードを入力しないでそのまま次の画面へ進むこともできますが、セキュリティ上、設定することを強くおすすめします。



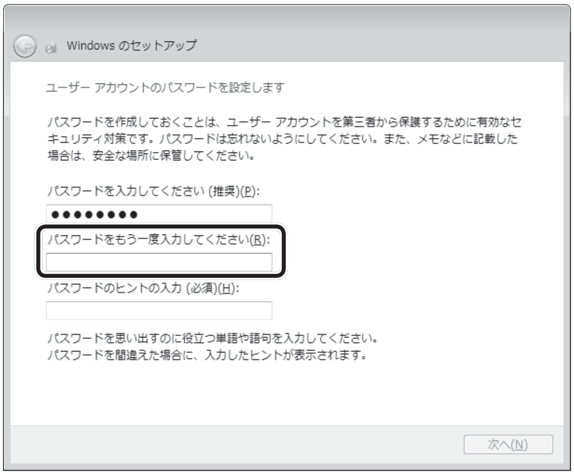
入力した文字は「●●●●●」で表示されるため、画面を見て確認することはできません。入力し間違えても画面ではわからないので、気をつけて入力してください。

6 Windowsキーボードの Tab キーをタッチする

［パスワードをもう一度入力してください］と書いてある下の欄にカーソルが移動し、Windowsキーボードが画面の上の方に移動します。

7 パスワードをもう一度入力する

手順 5 で入力したWindowsログオンパスワードを、もう一度入力してください。

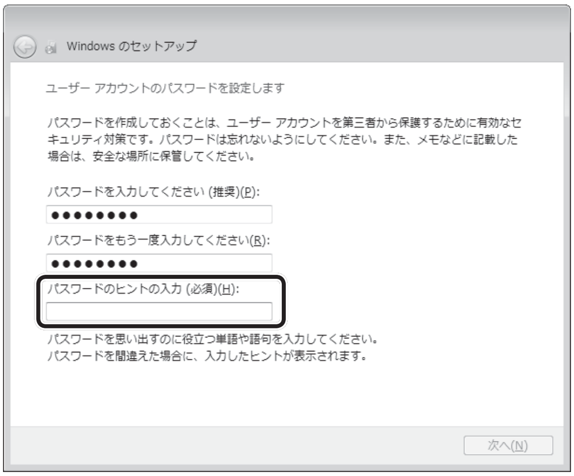


次の手順の前に 「パスワードのヒント」とは

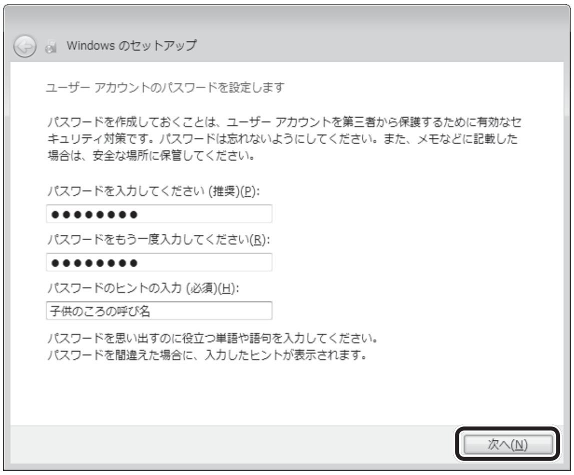
設定したWindowsログオンパスワードを忘れてしまったときのために、あらかじめヒントを入力しておいて、パスワード入力画面で表示させることができます。

8 パスワードのヒントを入力する

［パスワードのヒントの入力］と書いてある下の欄をタッチして、それを読めば自分だけはパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。



9 ［次へ］ボタンをタッチする



（表示例）

［ライセンス条項をお読みになってください］画面が表示されます。

10 マイクロソフトと東芝のライセンス条項の内容を確認し、それぞれの［ライセンス条項に同意します］の左にある をタッチする

ライセンス条項に同意しないと、セットアップを続行することはできず、Windowsやコンピューターを使用することはできません。
表示されている条項文の続きを表示するには、画面の右側にある ボタンをタッチします。



マイクロソフトのライセンス条項に同意してください。

東芝のライセンス条項に同意してください。

（表示例）

をタッチすると になります。

1章 パソコンの準備

11 ［次へ］ボタンをタッチする



（表示例）

［コンピューターの保護とWindowsの機能の向上が自動的に行われるように設定してください］画面が表示されます。

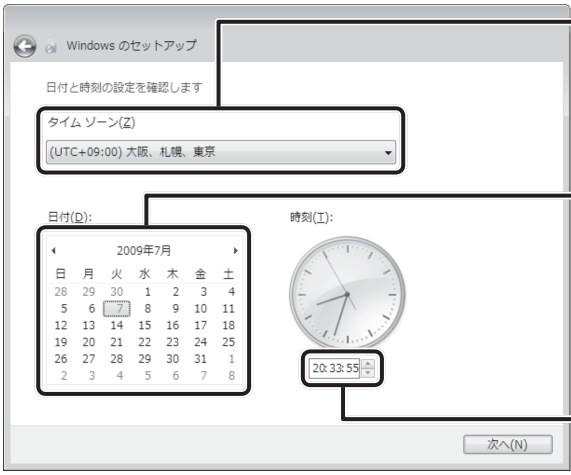
12 ［推奨設定を使用します］をタッチする



［日付と時刻の設定を確認します］画面が表示されます。

13 日付と時刻を確認する

コンピューターの内蔵時計の日付と時刻が合っているかどうか、確認します。合っていない場合は、正しい内容に設定してください。



（表示例）

［タイムゾーン］は、欄の右にある をタッチして、表示された地名から「大阪、札幌、東京」をタッチしてください。

年・月の左右にある または をタッチすると、月ごとに順に表示が切り替わります。
年・月を合わせてから、該当する日をタッチしてください。

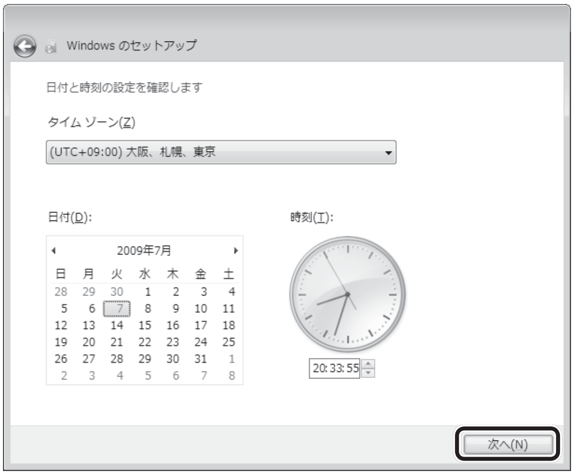
時刻表示の右にある または をタッチすると、順に数字が切り替わります。
変更したい時／分／秒をタッチしてから または をタッチしてください。

メモ

- 日付と時刻が合っていないと、本製品に用意されているウイルスチェックソフトなどの使用期限のあるアプリケーションでは、アプリケーションの設定後から適用される使用期限などが、正しく計測されないことがあります。そのため、この時点で、日付と時刻が合っていることを必ず確認してください。
- 日付と時刻はWindowsセットアップ終了後に設定することもできます。

参照 日付と時刻の設定『Windows ヘルプとサポート』

14 ［次へ］ボタンをタッチする

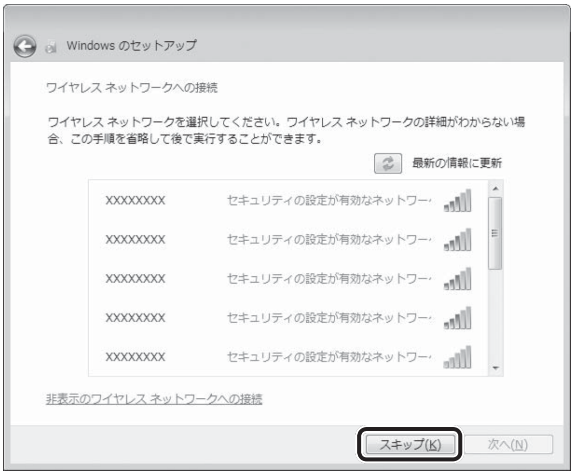


（表示例）

［ワイヤレスネットワークへの接続］画面が表示された場合は、手順 **15** に進んでください。
［Windowsで設定の最終処理を実行しています］画面が表示された場合は、手順 **16** に進んでください。

15 無線LANの設定を省略するので、［スキップ］ボタンをタッチする

無線LAN機能を使ったネットワークへの接続は、セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略した場合について説明します。

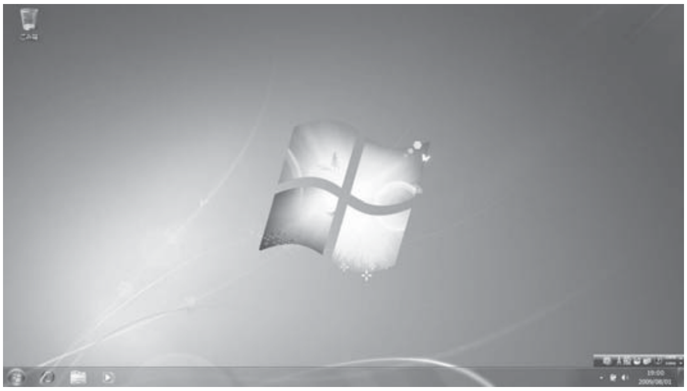


16 ユーザーの設定が準備される

Windowsセットアップが終了すると、コンピューター内にユーザーの設定が用意され、作業を完了するためにシステムが再起動します。
しばらくお待ちください。

Windowsログオンパスワードを設定している場合は、パスワード入力画面にWindowsログオンパスワードを入力し、[←┘]をタッチしてください。

Windowsが起動します。



（表示例）

「東芝サービスステーション」のメッセージが表示された場合は、次の「本項 5 「東芝サービスステーション」について」を確認してください。

メモ

- しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
  もう一度表示するには、画面をタッチしてください。
  画面をタッチしても復帰せず、Power ⏻ LEDが点滅または消灯している場合は、電源スイッチをオリエンテーションロックボタン側にスライドしてください。
- パソコンを起動するときに流れるWindowsの起動音がまれに途切れる場合がありますが、故障ではありません。
- ［キーボードを押すと専用の仮想キーボード（TOSHIBA Tablet Keyboard）を表示します。］画面が表示された場合は、［OK］ボタンをタッチしてください。

5 「東芝サービスステーション」について

「東芝サービスステーション」は、ソフトウェアのアップデートや重要なお知らせを自動的に提供するためのソフトウェアです。以降の説明をお読みのうえ、「東芝サービスステーション」を使用して、本製品を最新の状態に保つことを強くおすすめします。
このソフトウェアは本製品の識別情報などを当社のサーバーへ送信します。使用できるように設定する前に、詳しい内容を説明した使用許諾書が表示されますので、よくお読みください。

メモ

- 「東芝サービスステーション」を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。
- 「東芝サービスステーション」は、本製品に用意されているアプリケーション、ユーティリティ、ドライバーやBIOSのうち、一部についてアップデートをお知らせします。「dynabook.com」の「よくある質問 FAQ」やウイルス・セキュリティ情報と「Microsoft Update」などをあわせてご利用ください。

インストール方法

「東芝サービスステーション」は、購入時の状態ではインストールされていません。
次の手順でインストールしてください。

1 **[スタート] ボタン（ ）→ [すべてのプログラム] → [アプリケーションの再インストール] をタッチする**

2 **[セットアップ画面へ] をタッチする**

3 **[ユーティリティ] タブをタッチする**

4 **画面左側の [TOSHIBA Service Station] をタッチし、[「東芝サービスステーション」のセットアップ] をタッチする**

5 **画面の指示に従ってインストールする**

「XXXXX（ファイル名）を実行または保存しますか？」というメッセージが表示された場合は、[実行] ボタンをタッチしてください。

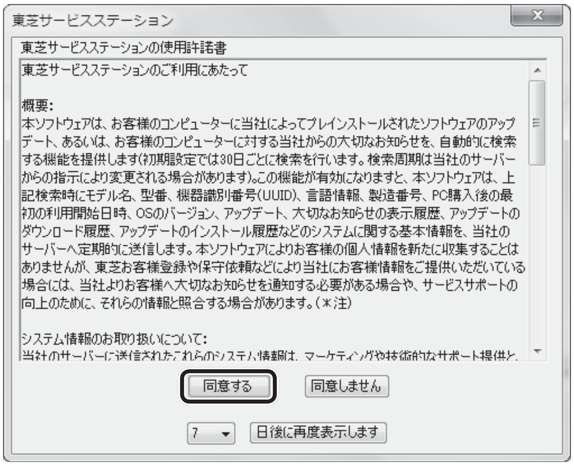
設定方法

「東芝サービスステーション」を使用できるように設定する方法は、次のとおりです。

1 **パソコン起動後、しばらくしてから通知領域に表示されるメッセージを確認する**

メッセージ「東芝から重要なお知らせがあります。ココを確認してください。」が表示されるので、このメッセージをタッチしてください。
または、[スタート] ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［サポート＆リカバリー］→［サービスステーション］をタッチしてください。
初めて起動したときは、本ソフトウェアに関する詳しい説明（使用許諾書）が表示されます。

2 **内容を確認し、［同意する］ボタンをタッチする**



（表示例）

使用許諾書に同意すると、以降は、ソフトウェアのアップデートや当社からのお知らせを検出する機能が、パソコンを起動すると自動的に動作します。

1章 パソコンの準備

使用方法

■ソフトウェアのアップデートがある場合

本製品に用意されているアプリケーション、ユーティリティ、ドライバーやBIOSにアップデートがあることを検知すると、メッセージ「X件の新しいソフトウェアのアップデート（更新）があります。」が表示されます。
メッセージを確認し、画面の指示に従って操作してください。

■本製品に対するお知らせがある場合

本製品に対する当社からのお知らせが準備されたことを検出すると、メッセージ「X件の新しいお知らせがあります。」が表示されます。
メッセージを確認し、画面の指示に従って操作してください。

手動で、ソフトウェアのアップデート、またはお知らせを確認したい場合は、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［サポート＆リカバリー］→［サービスステーション］をタッチし、［すべてのアップデートを確認］をタッチしてください。

6 Windowsセットアップが終了したら

日付と時刻の確認

日付と時刻は、画面右下の［通知領域］に表示されています。
正しく設定されているかどうか確認してください。



（表示例）

正しく設定されていない場合は、『Windows ヘルプとサポート』を確認して設定してください。

Windows 7でわからない操作があったとき

Windows 7の使いかたについては、［スタート］ボタン（ ）→［ヘルプとサポート］をタッチして、『Windows ヘルプとサポート』を参照してください。
Windows 7の最新情報は次のホームページから確認できます。

- Windows 7について
  URL：http://www.microsoft.com/japan/windows/default.mspx

Windowsを最新の状態にする

「Windows Update」で更新プログラムをインストールしてください。

参照 「Windows Update」について『Windows ヘルプとサポート』

リカバリーメディアの作成

リカバリーメディアを作成しておくことをおすすめします。
リカバリーメディアとは、システムやアプリケーションをご購入時の状態に復元（リカバリー）するためのものです。

参照 リカバリーメディアについて『オンラインマニュアル』

なお、リカバリーメディアを使って実際にリカバリーを行うときは、操作の流れをよくご確認ください。

参照 リカバリーについて「3章 買ったときの状態に戻すには」

バックアップをとる

作成したファイルを誤って削除してしまったり、突然のパソコンのトラブルによって保存したファイルが使えなくなってしまうことがあります。
このような場合に備えて、あらかじめファイルをDVD-RやUSBフラッシュメモリなどの記録メディアにコピーしておくことをバックアップといいます。
一度なくしたデータを復旧することはできません。
万が一のために、必ず定期的にバックアップをとりましょう。
＊CD／DVDにバックアップをとる場合、市販の外付けCD／DVDドライブが必要です。

参照 バックアップについて『オンラインマニュアル』

2 電源を切る

パソコンを使い終わったとき、電源を完全に切る「シャットダウン」を行ってください。間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失ったりするおそれがあります。中断するときは、それまでの作業をメモリに保存して一時的に中断する「スリープ」があります。

参照 スリープについて『オンラインマニュアル』

⚠警 告

- 電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る
  パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定した上で、パソコンの電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
  ・無線通信機能は、「TOSHIBA Flash Cards」の［ワイヤレス］のカードで無効にすることができます。[ワイヤレス]のカードをタッチして、表示されたアイコン群から をタッチしてください。
  ・スリープや休止状態では、パソコンが自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
  ・電源を切った状態でもパソコンが自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効に（解除）してください。

お願い 電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- データの書き込み中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。

電源を切るには、次のように操作してください。

1 ［スタート］ボタンをタッチする



2 ［シャットダウン］をタッチする



Windowsを終了したあと、パソコンの電源が自動的に切れます。
パソコン本体の電源が切れると、Power ⏻ LEDが消灯します。

お願い　電源を切ったあとは

- パソコン本体に接続している機器（周辺機器）の電源は、パソコン本体の電源を切ったあとに切ってください。
- パソコン本体や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。

メモ

- 電源スイッチをロックアイコン（🔒）側にスライドすると、電源スイッチが固定されて電源ONまたはOFF状態が保持されます。

■再起動

Windowsを終了したあと、すぐにもう一度起動することを「再起動」といいます。パソコンの設定を変えたときやパソコンがスムーズに動かなくなってしまったときなどに行います。
再起動するには、次のように操作してください。

①［スタート］ボタン（ ）をタッチし、 をタッチする

②表示されたメニューから［再起動］をタッチする

3 電源を入れる

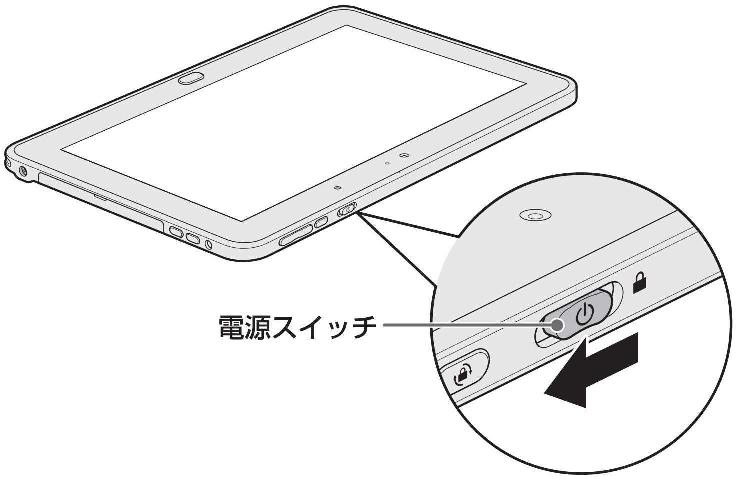
Windowsセットアップを終えたあとは、次の手順で電源を入れます。

お願い **電源を入れる前に**

- 各スロットに記録メディアなどをセットしている場合は取り出してください。
- プリンターなどの周辺機器を接続している場合は、パソコン本体より先に周辺機器の電源を入れてください。

1 電源スイッチをオリエンテーションロックボタン側にスライドし、指をはなす

確実に電源スイッチをスライドしてください。
Power ⏻ LEDが白色に点灯することを確認してください。



各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。画面上のキーボードでパスワードを入力して ENT をタッチしてください。

Windowsが起動し、デスクトップ画面が表示されます。

メモ

- 画面右に無線LANの接続状態を示すウィンドウが表示されることがあります。

参照 「東芝無線LANインジケーター」について『オンラインマニュアル』

- 電源スイッチをロックアイコン（🔒）側にスライドすると、電源スイッチが固定されて電源ONまたはOFF状態が保持されます。

電源に関する表示

電源の状態はシステムインジケーターの点灯状態で確認することができます。
電源に関係あるインジケーターとそれぞれの意味は次のとおりです。

	状態	パソコン本体の状態
DC IN/Battery LED	白色の点灯	ACアダプターを接続している（バッテリー充電完了）
	オレンジ色の点灯	ACアダプターを接続している（バッテリー充電中）
	オレンジ色の点滅	充電が必要
	消灯	ACアダプターを接続していない
Power LED	白色の点灯	電源ON
	白色の点滅	スリープ中
	消灯	電源OFF、休止状態

＊ 電源に関するトラブルについては、「4章 2 Q&A集」を参照してください。

メモ

- しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
  もう一度表示するには、画面をタッチしてください。
  画面をタッチしても復帰せず、Power LEDが点滅または消灯している場合は、電源スイッチをオリエンテーションロックボタン側にスライドしてください。

5 本製品を使ってみよう

画面に便利なソフトウェアを表示させてタッチするだけで、マウスや外付けキーボードが無くても自由に操作することができます。
画面の「TOSHIBA（トウシバ） Desk（デスク） Band（バンド）」に表示されているアイコンをタッチすると、アイコンに割り付けられている機能が使えます。

1 TOSHIBA Desk Band

「TOSHIBA Desk Band」に表示されている各アイコンについて説明します。



（表示例）

Adaptive Display

Adaptive Display機能は、環境光の変化にあわせて、本体液晶ディスプレイの輝度、および、色を自動的に調整します。「TOSHIBA Desk Band」の［Adaptive Display］アイコンをタッチすることでオン／オフを切り替えることができます。

Audio Enhancer

Audio Enhancer機能は、デジタル処理による音質劣化なしに、より音源に近い音を再現します。「TOSHIBA Desk Band」の［Audio Enhancer］アイコンをタッチすることでオン・オフを切り替えることができます。Audio Enhancer機能は、44100Hz〜48000Hzのサンプルレートをサポートします。Audio Enhancer機能は本体内蔵のスピーカーでの補正を行います。外付けのスピーカーやヘッドホンでは効果がありません。

ウェブカメラアプリケーション

「東芝ウェブカメラアプリケーション」を起動します。Webカメラについては、『オンラインマニュアル』を参照してください。

Flash Cards

さまざまな機能を簡単な操作で実行できる、「TOSHIBA Flash Cards」を起動します。画面の輝度調節や無線通信機能のON／OFF、電源プランの変更などを、画面に表示されたカードから操作できます。「TOSHIBA Flash Cards」の詳しい内容については、『オンラインマニュアル』を参照してください。

App Switcher

起動しているアプリケーションの一覧を表示します。各アプリケーションを切り替えたり、終了させたりすることができます。

Zoom

画面を部分的に拡大表示できます。［Zoom］アイコンをタッチしてから拡大したい箇所をタッチしてください。拡大表示されます。拡大表示している部分以外をタッチすると、Zoom機能は終了します。

Tablet Touch Pad

タッチパッドを画面に表示します。画面上をタッチパッドのように使用することができます。

Tablet Keyboard

キーボードを画面に表示します。「本節- 2 Tablet Keyboard」を参照してください。

メモ

- 画面を縦長に表示した場合（縦置き）、「TOSHIBA Desk Band」のアイコンは左から最大4個までしか表示されません。
- 「TOSHIBA Desk Band」を再表示させる場合は、通知領域をプレス アンド ホールドして表示されたメニューから［ツールバー］をタッチし、表示されたメニューから［TOSHIBA Desk Band］をタッチして、チェックを付けてください。この画面で、［TOSHIBA Desk Band］のチェックをはずすと、「TOSHIBA Desk Band」が画面に表示されなくなります。

2 Tablet Keyboard

「TOSHIBA Desk Band」で［Tablet Keyboard］アイコン（ ）をタッチすると、画面にキーボードが表示されます。

キーボードボタン（ ）を押して、画面にキーボードを表示することもできます。

参照 キーボードボタン「本章 2 - 1 ボタン」

この画面上のキーボードをタッチして、実際のキーボードと同じように文字を入力することができます。



表示されるキーボードには、用途に合わせていろいろなパターンがあります。

右上の アイコンをタッチすると、別の種類のキーボードを表示します。

メモ

- Keyboardでは、すべてのキー入力（ショートカット）をカバーすることはできません。

6 画面で見るマニュアル

Windowsのセットアップが終わったら、いろいろな機能を楽しみましょう。
本製品には、本書をはじめとした冊子のマニュアルと、パソコンの画面で見る電子マニュアルがあります。知りたいことに合わせて、各マニュアルをお読みください。
本製品の操作説明は、パソコンの画面に表示させて見るマニュアル（電子マニュアル）にもあります。紙の冊子マニュアルをできるだけ少なくすることによって、少しでも環境保全に役立てるよう、エコ活動を推進しております。

Windowsが起動しているときに、『オンラインマニュアル』を画面上で見ることができます。
『オンラインマニュアル』には、本製品の使用方法についての説明がより多く記載されています。
次の操作を行うと、『オンラインマニュアル』が表示されます。

起動方法

1 デスクトップ上の［オンラインマニュアル］（ ）をダブルタッチする

『オンラインマニュアル』が起動します。

メモ

- PDFファイルを表示するアプリケーションの表示モードによっては、正しく表示できない場合があります。その場合は表示モードを変更してください。
- 『取扱説明書』の内容も､本製品の画面上で見ることができます。東芝PC総合情報サイト「dynabook.com（http://dynabook.com/pc/）」からダウンロードしてください。

2章

インターネットを快適に利用するために
ーウイルスチェック／セキュリティ対策ー

インターネットを使っていると、コンピューターウイルスなどによって知らない間にトラブルが襲いかかってくるおそれがあります。
この章では、インターネットを使うための準備と、より安全にインターネットを利用する方法について説明します。

1 インターネットを使うには

ホームページを閲覧するには、インターネットに接続するための設定が必要です。

準備

■ プロバイダーに加入する

プロバイダーとはインターネット接続の窓口となる会社のことです。会社によって使用料金やサービス内容が異なります。使用できるまでに数日かかる場合があります。

■ ブラウザソフトを用意する

本製品に用意されている「Microsoft Internet Explorer」でホームページの閲覧ができます。

■ ウイルスチェックソフトを設定する

インターネットやメールに添付されたファイルなどでコンピューターウイルスに感染する場合があります。コンピューターウイルスに感染してしまうと、パソコンのデータが破壊され、パソコンが使用できなくなることがありますので、インターネット接続やメールのやり取りをする前に、ウイルスチェックソフトの設定をしてください。

参照 ウイルスチェックソフトについて「本章 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

メモ

- 本製品に用意されているウイルスチェックソフトの設定をする前に、日付と時刻が合っていることを必ず確認してください。日付と時刻が合っていないと、アプリケーションの設定後から適用される使用期限などが、正しく計測されないことがあります。
  日付と時刻はWindowsセットアップ終了後に設定することもできます。

  参照 日付と時刻の設定『Windows ヘルプとサポート』

使用するまでの流れ

無線LANに接続する

参照 無線LANで接続する『オンラインマニュアル』

アクセスポイントの接続先は、プロバイダーとの契約時に送られてきた説明書などを確認してください。

▼

インターネットとメールの設定をする

インターネット接続の設定をするときは、プロバイダーとの契約時に送られてきた資料などを参照してください。
メールのやり取りをする場合は、メールソフトの設定も必要です。

参照 メールソフトの説明書、メールソフトのヘルプ

メールを使用するには、メールソフトでの設定が必要です。
メールソフトには、「Windows Liveメール」などがあります。

メモ

- Windows Liveメールの制限事項、メールの設定方法や送受信方法などの詳細は、「Windows Liveメール」のヘルプを参照してください。
- メールの送受信を行う前にウイルスチェックソフトを設定することをおすすめします。

参照 ウイルスチェックソフトについて「本章 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

▼

設定完了

2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには
―ウイルス・インターネットセキュリティ―

本製品に用意されているウイルス・インターネットセキュリティ用のアプリケーションを紹介します。

お願い **使用するにあたって**

- あらかじめ、「付録 1 - 3 ウイルスチェック・セキュリティ対策について」を確認してください。

役立つ操作集

アクション センターについて

「アクション センター」は、セキュリティの設定をしたり、Windows ファイアウォール、自動更新、ウイルスチェックソフトの状態をチェックしたりするなど、パソコンのセキュリティを向上させるお手伝いをします。



アクション センターはパソコンが危険にさらされている場合、通知領域に アイコンなどで警告します。
詳しくは、『Windows ヘルプとサポート』を確認してください。

1 コンピューターウイルス対策

コンピューターウイルスは、インターネットや、メールに添付されたファイルを介してパソコンに入り込んでしまうことがあります。
コンピューターウイルスに感染すると、次のようなことがおこる可能性があります。

- パソコンのデータが破壊され、パソコンを使用できなくなる
- インターネットを経由して、パソコンに残している個人情報にアクセスされる

コンピューターウイルスの感染や不正アクセスからパソコンを保護するため、初めてインターネットに接続したりメールを送受信する前に、ウイルスチェック機能があるソフトをインストールしてください。インストール後も、普段から定期的にコンピューターウイルスの検出を行うようにしてください。

本製品には、次のソフトが用意されています。

- **ウイルスバスター**
  ウイルスの発見や駆除、個人情報保護やネットワークセキュリティ対策ができるアプリケーションです。

参照 「本節 3 ウイルスバスターによるウイルス対策」

本製品に用意されている「ウイルスバスター」以外のソフトを使用する場合

本製品に用意されている「ウイルスバスター」以外のウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを使用する場合は、「ウイルスバスター」をパソコンからアンインストール（削除）してから、ほかのウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトをインストールしてください。
アンインストールは、「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」で行います。

2 インターネットをより安全に楽しむために

インターネットを利用すると、画面上でいろいろな情報を見ることができて大変便利です。しかしその反面、インターネット上には次のような有害なものが存在します。

・コンピューターウイルス
　パソコンに侵入し、パソコン内に保存してあるデータを破壊するなどの悪さを行います。
・スパイウェア
　パソコンに侵入し、パソコン内の情報（氏名やパスワード、ホームページの閲覧履歴など）を第三者に流出します。
・有害サイト
　お子様に適さないサイトや、ウイルスに感染しているサイトなど、ユーザーに悪影響を与えるおそれがあるサイトです。

ウイルスチェックソフト、スパイウェア対策ソフト、有害サイト閲覧制限ソフトを上手に使って、快適にインターネットを楽しみましょう。

メモ

- 本製品にはユーザーの年齢やホームページのカテゴリによって表示するサイトを制限できる「i-フィルター6.0」が用意されています。

参照 「本章 3 有害サイトの閲覧（アクセス）を制限する」

3 ウイルスバスターによるウイルス対策

本製品に用意されている「ウイルスバスター」は、90日間の使用期限がある体験版です。使用するには、インストールする必要があります。

「ウイルスバスター」には、次のような機能があります。

- コンピューターウイルスを検出／除去する
- フィッシング詐欺への対策をする
- スパイウェアを検出して処理する
- 個人情報の漏えいを防止する
- 迷惑メールや詐欺メールを判定して処理する
- 有害サイトへのアクセスを制限する

など

詳しくは、ヘルプを確認してください。

インストール手順

1 デスクトップ上の［ウイルスバスターのセットアップ］アイコン（ ）をダブルタッチする

2 ［開始］ボタンをタッチする

3 ［同意してインストール］をタッチする

以降は、画面に従って操作してください。メールアドレスは登録しなくても使用できます。

ヘルプの起動

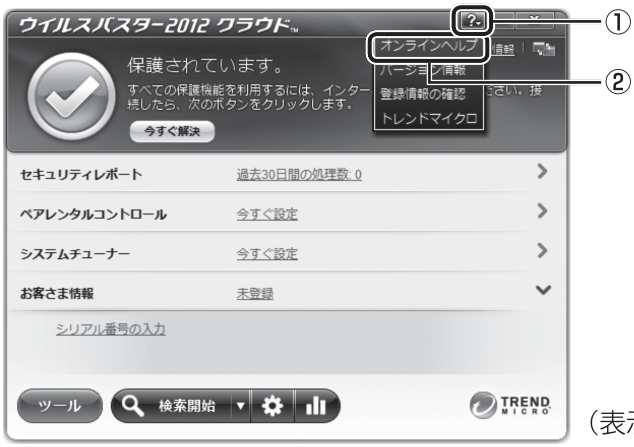
ヘルプを見るためには、インターネットに接続する必要があります。

1 通知領域の［ウイルスバスター］アイコン（ ）をダブルタッチする

＊通知領域にアイコンが表示されていない場合は、 をタッチしてください。

［ウイルスバスター］画面が表示されます。

2 ［ウイルスバスター］画面で［ヘルプ］ボタン（ ）をタッチし①、表示されたメニューから［オンラインヘルプ］をタッチする②



（表示例）

［オンラインヘルプ］画面が表示されます。

［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［ウイルスバスター2012 クラウド］→［ウイルスバスター2012 ヘルプ］を順にタッチしても表示されます。

参照 ウイルスバスターのお問い合わせ先「4章 4 - 2 アプリケーションのお問い合わせ先」

3 有害サイトの閲覧（アクセス）を制限する

インターネットに接続すると、世界中のいろいろなホームページを見ることができます。ニュースを読む、買い物をする、調べ物をするなど便利な使いかたもできますが、なかには有害なホームページもあります。
有害なホームページへのアクセスを遮断する「i-フィルター6.0」を使用することをおすすめします。

1 i-フィルター6.0

本製品には、フィルタリング機能をもつアプリケーションとして「i-フィルター6.0」が用意されています。「i-フィルター6.0」は、ユーザーの年齢やホームページのカテゴリによってアクセスを制限し、有害なホームページは表示しないように設定することができます。

お願い 使用期限について

- あらかじめ、「付録 1 - 4 「i-フィルター6.0」について」を確認してください。

インストール方法

「i-フィルター6.0」は、購入時の状態ではインストールされていません。
次の手順でインストールしてください。

1 ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］をタッチする

2 ［セットアップ画面へ］をタッチする

3 ［アプリケーション］タブをタッチする

4 画面左側の［i-filter］をタッチし、［「i-フィルター」のセットアップ］をタッチする

5 表示されるメッセージに従ってインストールする

「XXXXX（ファイル名）を実行または保存しますか？」というメッセージが表示された場合は、［実行］ボタンをタッチしてください。

「i-フィルター6.0」の使いかたについては、「i-フィルター6.0」のヘルプをご確認ください。
「i-フィルター6.0」のヘルプを見るには、インターネットに接続し、ダウンロードする必要があります。
［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［i-フィルター6.0］→［サポート情報］→［「i-フィルター6.0」マニュアルダウンロードページへ］をタッチし、以降は画面の指示に従って操作してください。

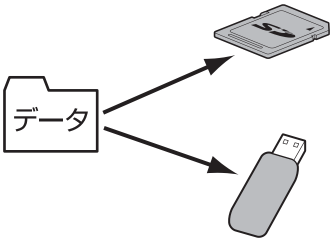
3章

買ったときの状態に戻すには
−リカバリー−

この章では、パソコンの動作がおかしくなり、いろいろなトラブル解消方法では解決できないときに行う「リカバリー」について説明しています。リカバリーを行うことでシステムやアプリケーションを購入時の状態に復元できます。作成したデータなどが消去されますので、よく読んでから行ってください。

1 バックアップをとる

保存したファイルやフォルダーを誤って削除してしまったり、パソコンのトラブルなどによってファイルが使えなくなってしまうことがあります。
このような場合に備えて、あらかじめファイルをSDメモリカードやUSBフラッシュメモリなどの記録メディアにコピーしておくことをバックアップといいます。
＊CD／DVDにバックアップをとる場合、市販の外付けCD／DVDドライブが必要です。



大切なデータは、こまめにバックアップをとってください。
本製品は次のような場合、スリープ、休止状態が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- 誤った使いかたをしたとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 長期間使っていなかったために、バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）の充電量がなくなったとき
- 故障、修理、バッテリー交換のとき

記憶内容の変化／消失については、内蔵フラッシュメモリや記録メディアなどに保存した内容の損害については当社はいっさいその責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。
バックアップの説明や操作方法の詳細は、『オンラインマニュアル』を参照してください。

お願い **バックアップをとるにあたって**

- あらかじめ、「付録 1 - 5 バックアップについて」を参照してください。

2 リカバリーとは

リカバリー（再セットアップ）とは、お客様が作成したデータや、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などをすべて削除し、もう一度ご購入時の状態に復元する作業です。内蔵フラッシュメモリ内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、Windowsログオンパスワードなど）も購入時の状態に戻る、つまり何も設定していない状態になります。

一度リカバリーを始めると、途中で中止したり、パソコンの電源を切ることができません。
リカバリーには時間がかかりますので、時間の余裕をもって行ってください。
内蔵フラッシュメモリからのリカバリーには、約2～2.5時間かかります。リカバリーメディアからのリカバリーは、さらに1時間程度長くかかります。

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときにリカバリーをしてください。

- パソコンの動作が非常に遅くなった
- 周辺機器が使えなくなった
- 内蔵フラッシュメモリにあるシステムファイルを削除してしまった
- コンピューターウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない＊[1]
- パソコンの調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- 東芝PC あんしんサポートに相談した結果、「リカバリーが必要」と診断された

＊1 ウイルスチェックソフトが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

お願い

- 市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリーができなくなることがあります。

メモ

- リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。誤ってほかの人にリカバリーを実行されないよう、ユーザーパスワードを設定しておくことをおすすめします。

参照 ユーザーパスワード『オンラインマニュアル』

- 購入時にプレインストールされていたアプリケーションやドライバーを誤って削除してしまった場合は、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］をタッチして、再度インストールすることをおすすめします。

参照 「本章 5 プレインストールのアプリケーションを再インストールする」

それでも解消できない場合にリカバリーを行ってください。

1 リカバリーをする前に確認すること

パソコンの動作がおかしいと感じたとき、次の方法を実行してみてください。リカバリーをしなくても、状態が改善される場合があります。次の方法をすべて試してみても状態が改善されない場合に、リカバリーを実行してください。

ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する

ウイルスチェックソフトを使って、ウイルスに感染していないかどうかを確認してください。ウイルスが検出されたら、ウイルスチェックソフトで駆除できます。その際、ウイルス定義ファイル（パターンファイル）は、最新のものに更新しておいてください。
場合によっては、ウイルスチェックソフトで駆除できないウイルスもあります。そのときは、リカバリーを実行してください。

参照 ウイルスチェックソフト「2章 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

セーフ モードで起動できるか実行してみる

Windowsが起動できないときは、次のように実行してみてください。
本機能を使用するには、市販の外付けキーボードが必要です。あらかじめキーボードを用意してから実行してください。
外付けキーボードの接続方法は、『キーボードに付属の説明書』を参照してください。

1. **外付けキーボードを接続する**
2. **電源を入れる**
3. **TOSHIBAロゴが表示されたら、メニューが表示されるまで F8 キーを数回押す**

   各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して ENT をタッチしてください。そのあとすぐに、F8 キーを再び数回押してください。
4. **メニューが表示されたら、[セーフモード] を選択し、ENTER キーを押す**

最低限の機能でWindowsを起動させることができます。これで起動できた場合は、リカバリーをする前に東芝PCあんしんサポートにご相談ください。

■「システム回復オプション」で調べる

「システム回復オプション」とは、Windowsが正常に起動しなくなった場合に、問題を解決して起動できるようにする方法が集まったものです。次の手順で実行してみてください。

①「本項 - セーフモードで起動できるか実行してみる」の手順 **4** で［コンピューターの修復］を選択し、ENTERキーを押す

* このとき［前回正常起動時の構成（詳細）］を選択すると、直前の正常に起動したときの状態でWindowsを起動できます。

キーボードの選択画面が表示されます。

② ↑ ↓ キーで［日本語］を選択し、TABキーで［次へ］ボタンにカーソルを合わせてENTERキーを押す

ログオン画面が表示されます。

③ ↑ ↓ キーでユーザー名を選択し、TABキーで「パスワード」にカーソルを合わせてWindowsログオンパスワードを入力する

④ TABキーで［OK］ボタンにカーソルを合わせてENTERキーを押す

「システム回復オプション」が起動します。各項目の内容は、次のとおりです。

- **スタートアップ修復**
  システムファイルの不足や破損など、Windowsの正常な起動を妨げる可能性のある問題を解決し、正常に起動できるようにします。
- **システムの復元**
  システムファイルを正常に機能していた日時の状態に復元することができます。
- **システム イメージの回復**
  以前に作成したシステム イメージを使用して、コンピューターを回復します。システム イメージの詳細は、『Windows ヘルプとサポート』を参照してください。
- **Windows メモリ診断**
  メモリが正常に機能しているかどうかを確認します。
- **コマンド プロンプト**
  コマンドプロンプトに切り替えます。
- **TOSHIBA Recovery Wizard**
  リカバリー（再セットアップ）のメニューを表示します。

⑤使いたいメニュー名にカーソルを合わせてENTERキーを押す

この後の操作は、メニューによって異なります。表示された画面の指示に従って操作してください。

周辺機器をすべて取りはずし、再度確認する

USB対応機器など、購入後に追加で増設した機器が障害の原因となっている場合があります。それらを取りはずしてから、再起動して、動作を確認してみてください。

参照 機器の取りはずし『オンラインマニュアル』

ほかのトラブル解消方法を探す

パソコンの調子がおかしいと思ったときは、「4章 1 トラブルを解消するまでの流れ」、「4章 2 Q&A集」を確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。
それでも解消できないときに、リカバリーをしてください。

システムの復元で以前の状態に復元する

「システムの復元」は、パソコンに問題が発生したときに、個人用のデータを失わずにパソコンを以前の状態に復元するための機能です。
詳しくは、『Windows ヘルプとサポート』を参照してください。

2 リカバリー（再セットアップ）の流れ

リカバリーをする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

バックアップをとる
参照 「本章 1 バックアップをとる」『オンラインマニュアル』

▼

リカバリー（画面の指示に従い、Windowsセットアップまで行います）

リカバリー（再セットアップ）
参照 「本章 3 リカバリー＝再セットアップをする」

▼

Windowsのセットアップ
参照 「1章 4 - 1 - 4 Windowsのセットアップ」

▼

リカバリー後、必要に応じて行ってください。

周辺機器の接続
参照 『オンラインマニュアル』『各機器に付属の説明書』

▼

インターネットやメールの設定
参照 「2章 1 インターネットを使うには」『オンラインマニュアル』

▼

ウイルス対策ソフトの設定と更新
参照 「2章 2 ウイルス感染や不正アクセスを防ぐには」

▼

Windows Update
参照 『Windows ヘルプとサポート』

▼

データの復元
参照 「本章 4 - 2 バックアップしておいたデータを復元する」

3 リカバリーをはじめる前にしておくこと

リカバリーをはじめる前に、次の準備と確認を行ってください。

準備するもの

- 『取扱説明書』（本書）
- 巻末のリカバリーチェックシートをコピーしたもの
- リカバリーメディア（あらかじめ作成してあるリカバリーメディアからリカバリーする場合）

＊本製品でDVDのリカバリーメディアを使用する場合、市販の外付けDVDドライブが必要です。

必要なデータのバックアップをとる

リカバリーをすると、購入後に作成したデータやインストールしたアプリケーションなど、内蔵フラッシュメモリに保存していた内容は削除されて、設定が初期化されます。次のようなデータは削除されますので、可能な場合は、記録メディア（CD／DVDやUSBフラッシュメモリなど）にバックアップをとってください。

＊本製品でCD／DVDにバックアップをとる場合、市販の外付けCD／DVDドライブが必要です。

- ［ドキュメント］（または［マイ ドキュメント］）、［ピクチャー］（または［マイ ピクチャー］）などのデータ
- 購入後にデスクトップに保存したデータ
- Microsoft Internet Explorerの［お気に入り］のデータ
- メール送受信データ
- メールアドレス帳
- プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
- 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
- 購入後に作成したフォルダーとファイル

また、リカバリー後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

ただし、内蔵フラッシュメモリをフォーマットしたり、システムファイルを削除した場合は、バックアップをとることができません。また、リカバリーを行っても、内蔵フラッシュメモリに保存されていたデータは復元できません。

参照 メール送受信データ、メールアドレス帳のバックアップについて
『メールソフトに付属の説明書』
その他のデータのバックアップについて
『オンラインマニュアル』

アプリケーションのセットアップ用記録メディアを確認する

購入後に追加でインストールしたアプリケーション、プリンターなどの周辺機器のドライバーは、リカバリー後に再度インストールする必要があります。これらをインストールするための記録メディア（CDなど）が、お手元にあることを確認してください。
また、アプリケーションによっては、ID番号などが必要です。あらかじめ確認してください。

各種設定を確認する

インターネットやLANの設定、Windowsログオン時のアカウント名などの設定項目を、メモなどに控えておいてください。ウイルスチェックソフトなど、有料で購入した認証キーなどがセットアップ時に必要なアプリケーションは、それらの番号を控えておいてください。確認方法は各アプリケーションのヘルプやお問い合わせ先にご確認ください。

音量を調節する

リカバリー後、Windows セットアップが終了するまで音量の調節はできません。あらかじめ、音量ボタン（ − または ＋ ）で音量を調節してください。［音量ミキサー］画面で［ミュート］ボタン（ 🔉 ）をタッチし、本体のスピーカーやヘッドホンの音量をミュート（消音）にしている場合は、もう一度［音量ミキサー］画面で［ミュート］ボタン（ 🔉 ）をタッチして元に戻しておいてください。

参照 音量の調節方法『オンラインマニュアル』

無線通信機能がONであるか確認する

無線通信機能がONであることを確認してください。
ONになっていない場合は、「TOSHIBA Flash Cards」の［ワイヤレス］のカードで、無線通信機能をONにしてください。

参照 「TOSHIBA Flash Cards」について『オンラインマニュアル』

周辺機器を取りはずす

プリンター、マウスなどの周辺機器は取りはずしてください。このとき、パソコン本体の電源を切ってから行ってください。

参照 機器の取りはずし『オンラインマニュアル』

3 リカバリー＝再セットアップをする

本製品をリカバリーする方法について説明します。
リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。

1 いくつかあるリカバリー方法

リカバリーには、次の方法があります。

- 内蔵フラッシュメモリからリカバリーをする
- リカバリーメディアからリカバリーをする

通常は内蔵フラッシュメモリからリカバリーをしてください。
リカバリーメディアからのリカバリーは、内蔵フラッシュメモリのリカバリー（再セットアップ）ツール（システムを復元するためのもの）を消してしまい、内蔵フラッシュメモリからリカバリーができなかった場合などに行うことをおすすめします。
リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 リカバリーメディアの作成『オンラインマニュアル』

リカバリーメニューについて

次のメニューのなかからリカバリー方法を選択することができます。あらかじめリカバリー方法を決めておくとスムーズに操作できます。

■ご購入時の状態に復元（システム回復オプションあり）

内蔵フラッシュメモリをパソコンを購入したときの状態に戻し、購入時の状態に復元します。購入後に作成したデータや設定などはすべて消去されます。

■パーティションサイズを変更せずに復元＜推奨＞

現状のパーティションの構造を保ったままシステムを復元します。内蔵フラッシュメモリ（C:）に保存されていたデータは消去され、購入時の状態に戻りますが、その他のドライブに保存されていたデータはそのまま残ります。ただし、BIOS情報やコンピューターウイルスなどの影響でデータが壊れている場合、内蔵フラッシュメモリ（C:）以外の領域にあるデータが使えないことがあります。

■パーティションサイズを指定して復元

内蔵フラッシュメモリ（C:）のサイズを指定して復元します。内蔵フラッシュメモリ（C:）以外の内蔵フラッシュメモリのパーティションは消去されるため、リカバリー後、パーティションの再設定が必要です。購入後に作成したデータや設定などはすべて消去されます。

メモ

- どのメニューを選択しても、内蔵フラッシュメモリ（C:）には購入時と同じシステムが復元されます。

2 内蔵フラッシュメモリからリカバリーをする

メモ

- ドライブに記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。
- 内蔵フラッシュメモリのリカバリー（再セットアップ）ツール（システムを復元するためのもの）を削除した場合は、内蔵フラッシュメモリからのリカバリーはできません。
  その場合は、あらかじめ「TOSHIBA Recovery Media Creator」で作成したリカバリーメディアからリカバリーを行ってください。

ここでは、「パーティションサイズを変更せずに復元」する方法を例にして説明します。

1 パソコンの電源を切る

2 ACアダプターと電源コードを接続する

3 音量大ボタン（＋）を押しながら電源を入れ、表示されたメニューから［<HDD リカバリー>］をタッチし、Windowsボタン（⊞）を押す

参照 電源の入れかた「1章 4 - 3 電源を入れる」

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して ENT をタッチしてください。
メッセージ画面が表示されます。

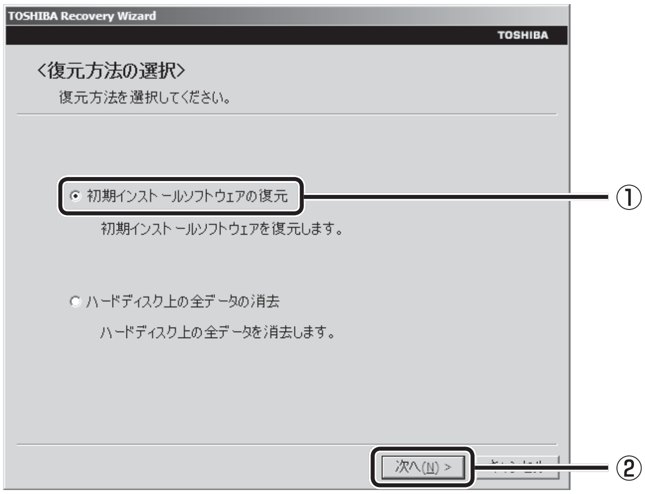
4 画面の内容を確認し、［はい］または［Yes］をタッチし、Windowsボタン（⊞）を押す

メッセージ画面が表示されます。

5 画面の内容を確認し、［はい］ボタンをタッチする

［復元方法の選択］画面が表示されます。

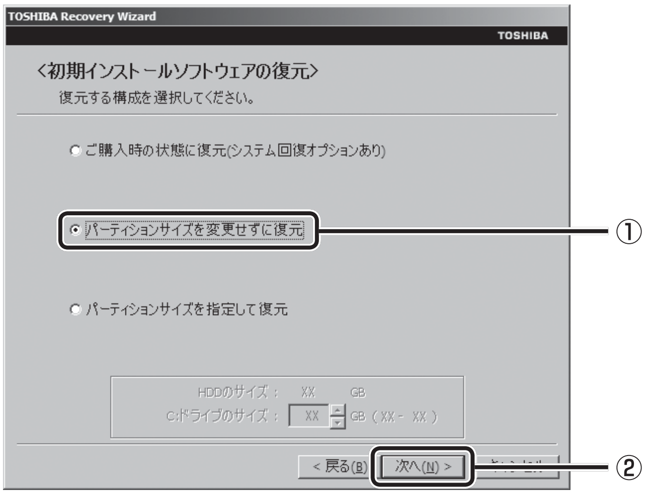
6 [初期インストールソフトウェアの復元]をチェックし①、[次へ]ボタンをタッチする②



[ハードディスク上の全データの消去]は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、内蔵フラッシュメモリのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、内蔵フラッシュメモリ上にある、リカバリーツールの領域以外のすべてのデータが削除されます。

参照 「4章 3 - 2 内蔵フラッシュメモリの内容をすべて消去する」

7 [パーティションサイズを変更せずに復元]をチェックし①、[次へ]ボタンをタッチする②

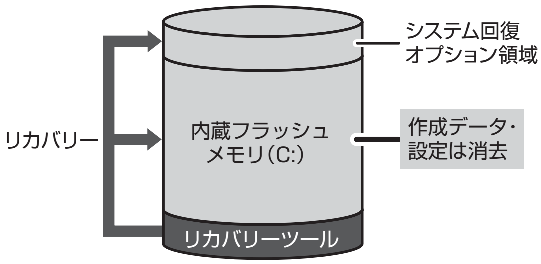


ほかのメニューを選択する場合については、次を参照してください。

- [ご購入時の状態に復元(システム回復オプションあり)]：P.69
- [パーティションサイズを指定して復元]：P.69

3章 買ったときの状態に戻すには —リカバリー—

- **［パーティションサイズを変更せずに復元］の意味と動作**
  すでに内蔵フラッシュメモリの領域を分割している場合などに使用します。内蔵フラッシュメモリ（C:）がリカバリーされ、それ以外の領域のデータはそのまま残ります。



内蔵フラッシュメモリ（C:）にあたる領域は、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のシステムやアプリケーションが復元された状態になります。

（内蔵フラッシュメモリの領域を分割している場合の例）

「先頭パーティションのデータは、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

メモ

- リカバリーツールとシステム回復オプションの領域が確保されているため、内蔵フラッシュメモリの100%を使用することはできません。

8 ［次へ］ボタンをタッチする

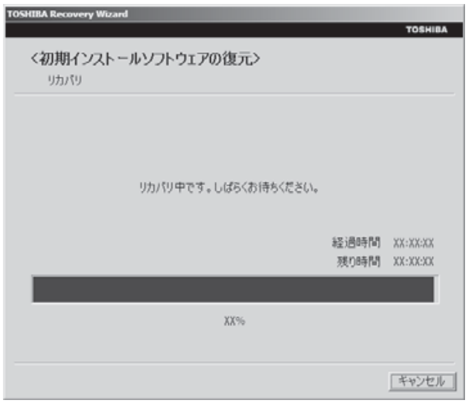
処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをタッチしてください。

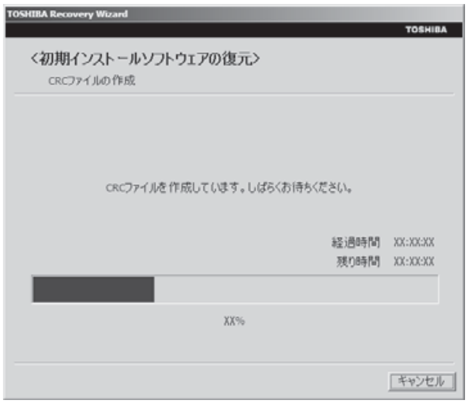
［次へ］ボタンをタッチすると、復元が実行され、［パーティションを初期化しています。しばらくお待ちください。］画面が表示されます。



3章 買ったときの状態に戻すには ―リカバリー―

長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。
復元中は、次の画面が表示されます。リカバリーの経過に従い、画面が変わります。





復元が完了すると、終了画面が表示されます。

9 ［終了］ボタンをタッチする

システムが再起動し、［しばらくお待ちください。］画面が表示されます。
ここから次の手順の［Windowsのセットアップ］画面が表示されるまで、約1〜1.5時間かかります。この間、メッセージが表示されたり、システムが自動的に再起動したりしますが、何も操作する必要はありません。［Windowsのセットアップ］画面が表示されるまで、お待ちください。
また、この間は絶対に電源を切らないでください。

10 Windowsのセットアップを行う

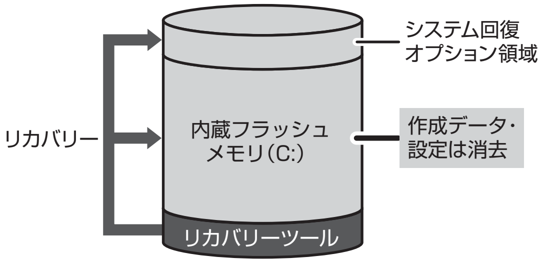
参照 詳細について「1章 4 - 1 - 4 Windowsのセットアップ」

その他のリカバリーメニューについて

「本節 2 内蔵フラッシュメモリからリカバリーをする」の手順 7 の［初期インストールソフトウェアの復元］画面の、［パーティションサイズを変更せずに復元］以外のメニューの意味と動作は次のようになります。

■ご購入時の状態に復元（システム回復オプションあり）

パソコンを購入したときの状態に戻します。



作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のパーティション、システム、アプリケーションが復元された状態になります。

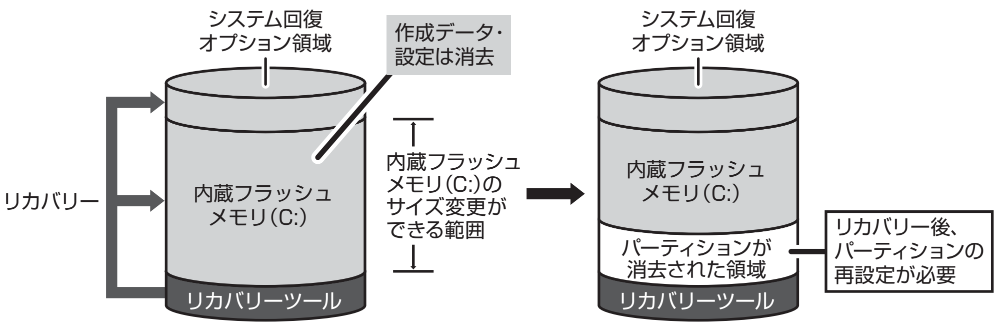
手順 7 では、［ご購入時の状態に復元（システム回復オプションあり）］をチェックして［次へ］ボタンをタッチしてください。「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

■パーティションサイズを指定して復元

内蔵フラッシュメモリ（C:）のサイズを変更します。
内蔵フラッシュメモリ（C:）以外の領域区分（パーティション）は消去され、1つの領域になります。この領域はそのままではドライブとして認識されず、使用することはできません。リカバリー後、「コントロールパネル」の「ディスクの管理」から再設定を行うと、再びドライブとして使用できるようになります。

参照 ディスクの管理「本章 4-1 パーティションを変更してリカバリーをした場合」

リカバリーを行うと、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のシステムやアプリケーションが復元された状態になります。



手順 7 では次の操作を行ってください。

① ［パーティションサイズを指定して復元］をチェックする
② ［C：ドライブのサイズ］で ▲ ▼ をタッチしてパーティション（内蔵フラッシュメモリ（C:））のサイズを指定する
③ ［次へ］ボタンをタッチする
「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

3 リカバリーメディアからリカバリーをする

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 リカバリーメディアの作成『オンラインマニュアル』

市販の外付けDVDドライブを使用して、DVDのリカバリーメディアでリカバリーをする場合は、USBハブなどを使い、あらかじめDVDドライブを接続してください。

参照 接続方法『DVDドライブに付属の説明書』

1 ACアダプターと電源コードを接続する

2 リカバリーメディアをセットして、パソコンの電源を切る

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、「ディスク1」からセットしてください。
USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

参照 USBフラッシュメモリの場合『オンラインマニュアル』
外付けのDVDドライブの場合『DVDドライブに付属の説明書』

3 音量大ボタン（＋）を押しながら電源を入れ、表示されたメニューから［ODD］または［USB］をタッチし、Windowsボタン（⊞）を押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して ENT をタッチしてください。

参照 電源の入れかた「1章 4 - 3 電源を入れる」

リカバリーメディアがDVDの場合は外付けのDVDドライブを示す項目（［ODD］など）、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目（［USB］など）を選択してください。
メッセージ画面が表示されます。

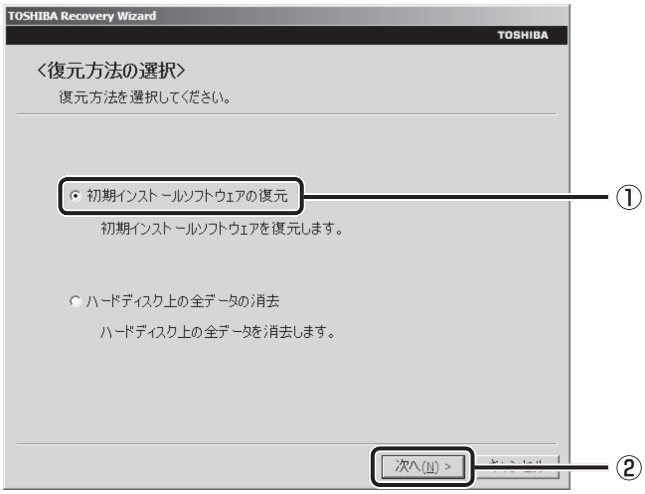
■「TOSHIBA Recovery Wizard」か「システム回復オプション」かを選択する画面が表示された場合

［TOSHIBA Recovery Wizard］をチェックし、［次へ］ボタンをタッチしてください。
「システム回復オプション」には、パソコンを使用するうえでのさまざまなトラブルやデータ保護に対応したメニューが用意されています。
詳しくは、「本章 2 - 1 -「システム回復オプション」で調べる」を参照してください。

4 画面の内容を確認し、［はい］ボタンをタッチする

［復元方法の選択］画面が表示されます。

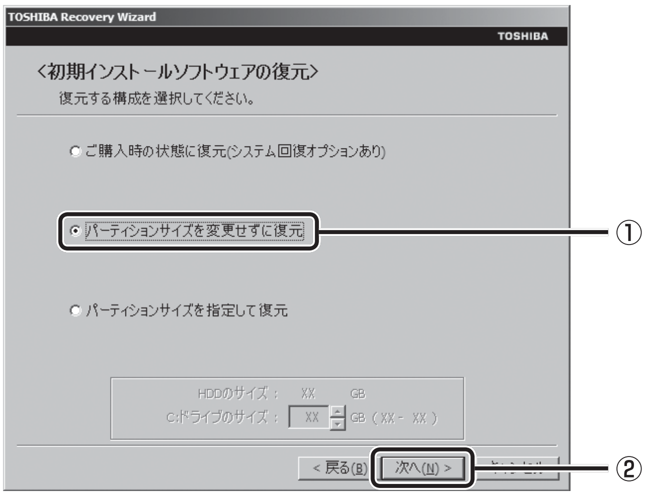
5 ［初期インストールソフトウェアの復元］をチェックし①、［次へ］ボタンをタッチする②



［ハードディスク上の全データの消去］は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、内蔵フラッシュメモリのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、内蔵フラッシュメモリ上にある、すべてのデータが削除されます。

参照 「4章 3 - 2 内蔵フラッシュメモリの内容をすべて消去する」

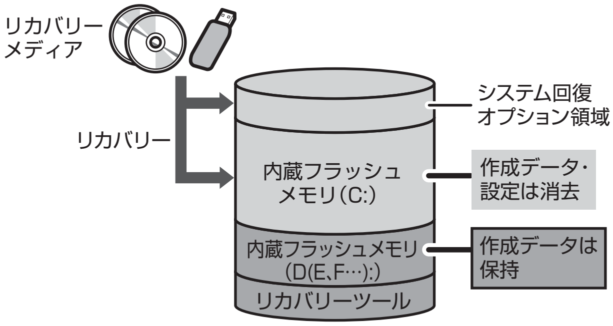
6 ［パーティションサイズを変更せずに復元］をチェックし①、［次へ］ボタンをタッチする②



ほかのメニューを選択する場合については、次を参照してください。

- ［ご購入時の状態に復元（システム回復オプションあり）］：P.74
- ［パーティションサイズを指定して復元］：P.75

● **［パーティションサイズを変更せずに復元］の意味と動作**
すでに内蔵フラッシュメモリの領域を分割している場合などに使用します。内蔵フラッシュメモリ（C:）がリカバリーされ、それ以外の領域のデータはそのまま残ります。
内蔵フラッシュメモリ（C:）にあたる領域は、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のシステムやアプリケーションが復元された状態になります。



（内蔵フラッシュメモリの領域を分割している場合の例）

「先頭パーティションのデータは、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

メモ

● リカバリーツールとシステム回復オプションの領域が確保されているため、内蔵フラッシュメモリの100%を使用することができません。

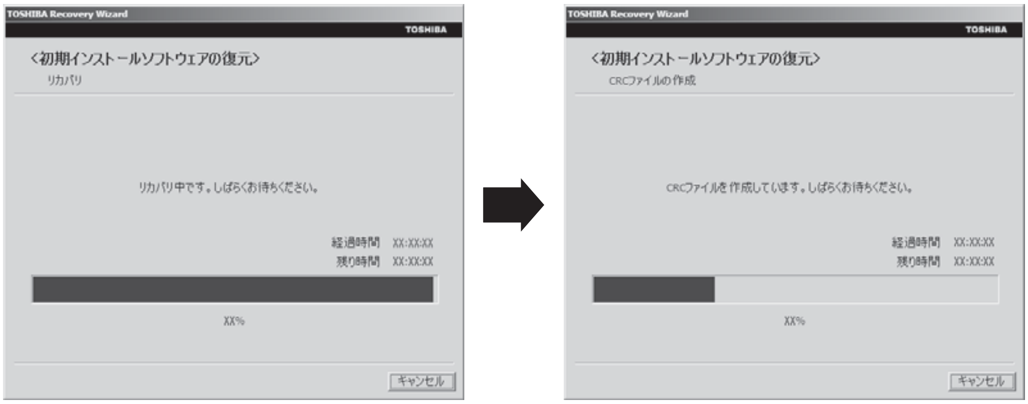
7 ［次へ］ボタンをタッチする

処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをタッチしてください。

［次へ］ボタンをタッチすると、復元が実行され、［パーティションを初期化しています。しばらくお待ちください。］画面が表示されます。



長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。
復元中は、次の画面が表示されます。リカバリーの経過に従い、画面が変わります。



＊最初に［コピーしています。］画面が表示される場合があります。長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、メディアを入れ替えるメッセージが表示され、ディスクトレイが開きます。メディアの番号順に入れ替え、［OK］ボタンをタッチしてください。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

8 リカバリーメディアの種類により次の操作を行う

■外付けのDVDの場合

①［終了］ボタンをタッチする
　自動的にディスクトレイが開きます。
②リカバリーメディアを取り出す

■USBフラッシュメモリの場合

①USBフラッシュメモリを取りはずす
②［終了］ボタンをタッチする

システムが再起動し、［しばらくお待ちください。］画面が表示されます。
ここから次の手順の［Windowsのセットアップ］画面が表示されるまで、約1〜1.5時間かかります。この間、メッセージが表示されたり、システムが自動的に再起動したりしますが、何も操作する必要はありません。［Windowsのセットアップ］画面が表示されるまで、お待ちください。
また、この間は絶対に電源を切らないでください。

9 Windowsのセットアップを行う

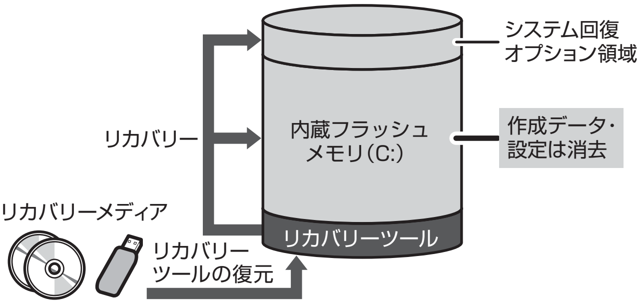
参照 詳細について「1章 4-1-4 Windowsのセットアップ」

その他のリカバリーメニューについて

「本節 3 リカバリーメディアからリカバリーをする」の手順 6 の［初期インストールソフトウェアの復元］画面の、［パーティションサイズを変更せずに復元］以外のメニューの意味と動作は次のようになります。

■ご購入時の状態に復元（システム回復オプションあり）

パソコンを購入したときの状態に戻します。



作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のパーティション、システム、アプリケーションが復元された状態になります。

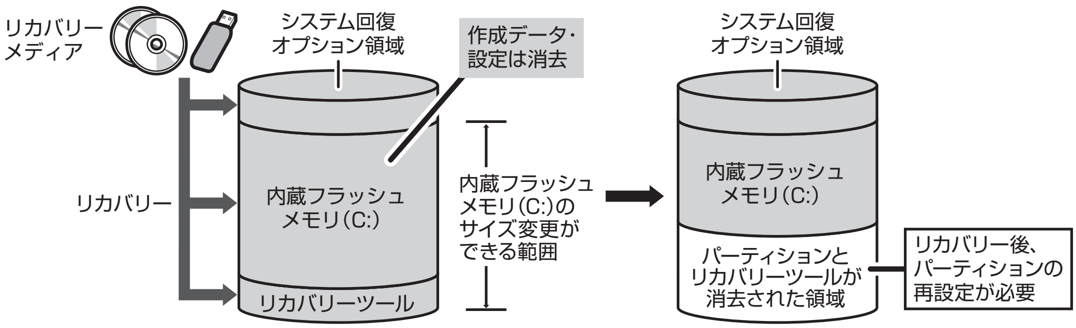
手順 6 では、［ご購入時の状態に復元（システム回復オプションあり）］をチェックして［次へ］ボタンをタッチしてください。「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

■パーティションサイズを指定して復元

内蔵フラッシュメモリ（C:）のサイズを変更します。
内蔵フラッシュメモリ（C:）以外の領域区分（パーティション）とリカバリーツールの領域は消去され、1つの領域になります。この領域はそのままではドライブとして認識されず、使用することはできません。リカバリー後、「コントロールパネル」の「ディスクの管理」から再設定を行うと、再びドライブとして使用できるようになります。
リカバリーツールの領域は消去されるため、作成したリカバリーメディアは大切に保管してください。

参照 ディスクの管理「本章 4 - 1 パーティションを変更してリカバリーをした場合」

リカバリーを行うと、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のシステムやアプリケーションが復元された状態になります。



手順 6 では次の操作を行ってください。

① ［パーティションサイズを指定して復元］をチェックする
② ［C：ドライブのサイズ］で ▲ ▼ をタッチしてパーティション（内蔵フラッシュメモリ（C:））のサイズを指定する
③ ［次へ］ボタンをタッチする
「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

4 リカバリーをしたあとは

購入後に変更した設定がある場合は、Windowsのセットアップ後に、もう一度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、購入後に追加したアプリケーションのインストールも、Windowsのセットアップ後に行ってください。
その他必要に応じて、インターネットやメールの再設定、ウイルスチェックソフトの設定や更新などが必要です。

参照 詳細について「本章 2 - 2 リカバリー（再セットアップ）の流れ」

ここでは次の点を説明します。

- パーティションの設定
- バックアップデータの復元

メモ

- Office搭載モデルの場合、リカバリーをしたあとでOffice製品のライセンス認証が必要になります。
- 一部のアプリケーションは、リカバリー後に再インストールをする必要があります。

参照 詳細について「本章 5 プレインストールのアプリケーションを再インストールする」

1 パーティションを変更してリカバリーをした場合

［パーティションサイズを指定して復元］を選択してリカバリーをした場合のみ、リカバリー後すみやかに次の設定を行ってください。

お願い パーティションを設定するにあたって

- Windowsの「ディスクの管理」を使用すると、ボリュームがないプライマリパーティションが表示されます。このパーティションにはリカバリー（システムの復元）するためのデータが保存されていますので、削除しないでください。削除した場合、リカバリーはできなくなります。

1 管理者ユーザーアカウントでログオンする

2 ［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をタッチする

3 ［ システムとセキュリティ］→［ 管理ツール］をタッチする

4 ［ コンピューターの管理］をダブルタッチする

5 画面左側の［ ディスクの管理］をタッチする

設定していないパーティションは［未割り当て］と表示されます。

6 **［ディスク0］の［未割り当て］の領域をプレス アンド ホールドする**

7 **表示されるメニューから［新しいシンプル ボリューム］をタッチする**

［新しいシンプル ボリューム ウィザード］が起動します。

8 **［次へ］ボタンをタッチし、ウィザードに従って設定する**

次の項目を設定します。

・ボリューム サイズの指定
・ドライブ文字またはパスの割り当て
・パーティションのフォーマット
　・ファイルシステム
　・アロケーションユニットサイズ
　・ボリュームラベル
　・クイックフォーマット
　・ファイルとフォルダーの圧縮

9 **設定内容を確認し、［完了］ボタンをタッチする**

フォーマットが開始されます。
パーティションの状態が［正常］と表示されれば完了です。

詳しくは、「コンピューターの管理」のヘルプを参照してください。

ヘルプの起動

1 **［コンピューターの管理］画面のメニューバーから［ヘルプ］→［トピックの検索］をタッチする**

2 バックアップしておいたデータを復元する

バックアップをとっておいたデータを使いたい場合は、バックアップした記録メディアからデータを読み込んでください。

■インターネット接続の設定情報

インターネット接続の設定情報は、データのバックアップがとれません。
プロバイダーから送られてきた書類や、お客様ご自身で設定情報を控えておいたメモなどを元に、もう一度設定し直してください。

■MS-IMEで登録した単語

詳しくは、「MS-IME」のヘルプを確認してください。

■[ドキュメント]、[お気に入り]のデータや、その他のファイルやフォルダーなど

- [ドキュメント]（または[マイ ドキュメント]）、[ピクチャー]（または[マイ ピクチャー]）などのデータ
- 購入後にデスクトップに保存したデータ
- Microsoft Internet Explorerの[お気に入り]のデータ
- メール送受信データ
- メールアドレス帳
- プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
- 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
- 購入後に作成したフォルダーとファイル

参照 メール送受信データ、メールアドレス帳の復元について『メールソフトに付属の説明書』
その他のデータの復元について『オンラインマニュアル』

アプリケーションによってバックアップ方法や復元方法が用意されている場合は、その方法に従って復元してください。詳しくは、アプリケーションのヘルプを参照してください。

5 プレインストールのアプリケーションを再インストールする

本製品にプレインストールされているアプリケーションは、一度削除してしまっても、必要なアプリケーションやドライバーを指定して再インストールすることができます。

同じアプリケーションがすでにインストールされているときは、コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」または各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行ってください。
アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどちらの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

メモ

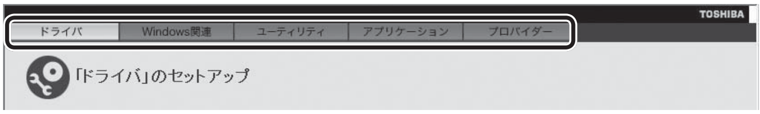
- アプリケーションをインストール／アンインストールする場合は、必ず横置きで行ってください。縦置きでは、インストール／アンインストールできない場合があります。

1 操作手順

1 **［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］をタッチする**

2 **［セットアップ画面へ］をタッチする**

アプリケーションやドライバーのセットアップメニュー画面が表示されます。アプリケーションやドライバーのセットアップメニューは、カテゴリごとのタブに分かれています。



（表示例）

初めて起動したときは、［ドライバー］タブが表示されています。タブをタッチして再インストールしたいアプリケーションを探してください。
画面左側にはアプリケーションの一覧が表示されています。
画面右側にはアプリケーションの説明が書かれていますので、よくお読みください。

3 **画面左側のアプリケーション名を選択し、画面右側の［「XXX」のセットアップ］をタッチする**

「XXX」にはアプリケーション名が入ります。
選択したメニューによっては別の言葉が表示されます。説明文の下の、下線が引かれている言葉をタッチしてください。

4 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

「XXXXX（ファイル名）を実行または保存しますか？」というメッセージが表示された場合は、［実行］ボタンをタッチしてください。

4章

困ったときは

パソコンの操作をしていて困ったときに、どうしたら良いかを説明しています。トラブルが起こったときは、あわてずに、この章を読んで、解消方法を探してみてください。
また、パソコン本体を捨てるときや人に譲るときに知っておいて欲しいことを説明しています。

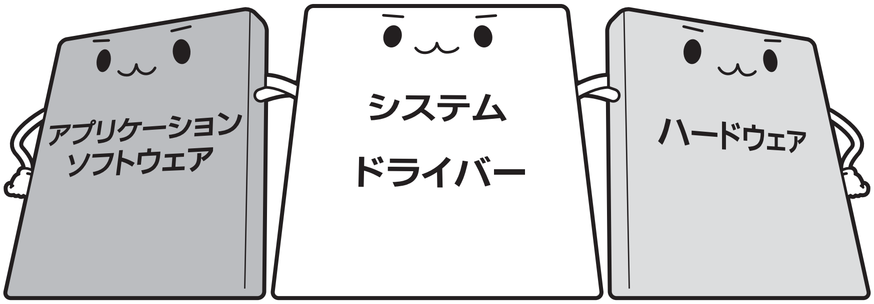
1 トラブルを解消するまでの流れ

お使いのパソコンに起こったトラブルについて、解決方法を見つけていきましょう。

1 トラブルの原因をつき止めよう

パソコンに起こるトラブルは、その原因がどこにあるかによって解決策が異なります。そのために、パソコンの構造をある程度知っておくことが必要です。
ここでは、パソコンの構成と、それぞれの構成部分で起こるトラブルの例、その解決方法を紹介します。

■パソコンを構成する3つの部分



- **アプリケーションソフトウェアとは**
  メールやインターネットは、アプリケーションソフトウェアの機能です。Word（文書作成ソフト）やExcel（表計算ソフト）、ウイルスチェックソフトもアプリケーションソフトウェアの代表的なものです。それぞれ製造元が異なります。

- **システム、ドライバーとは**
  システムは、オペレーティングシステム、OSともいい、パソコンを動かすための基本的な働きをします。本製品のシステムはWindows 7です。
  ドライバーは、周辺機器とシステムを連携する役割をします。ドライバーがないと、周辺機器は使用できません。代表的なドライバーに、ディスプレイドライバーやサウンドドライバーなどがあります。基本的なドライバーはシステムが標準装備していますが、周辺機器製品に専用のドライバーが付属している場合もあります。

- **ハードウェアとは**
  バッテリー、ACアダプター、ディスプレイ、内蔵フラッシュメモリ、CPUなどの、パソコン本体や接続する機器を指します。

パソコンはこれらの高度な技術の集合体です。トラブルの原因がそれぞれの製造元にしかわからない場合も多くあります。トラブルの症状に合わせた対処をすることが解決への早道です。
トラブルの解決には、最初に原因の切り分けを行います。一般的にはアプリケーションソフトウェア→システム（OS）、ドライバー→ハードウェア（パソコン本体）の順にチェックします。

STEP1 アプリケーションソフトウェアに原因がある場合

トラブル

例1： メールやインターネットがつながらない

アクセスポイントやメールサーバー、ID、パスワードなどの設定を確認します。これらの設定は契約プロバイダーごとに異なります。契約プロバイダーから指定された設定データが正しくパソコンの設定に反映されているかを確認してください。

解消法

例1： プロバイダーへのお問い合わせについて

お客様ご契約のプロバイダーの窓口へお問い合わせください。

トラブル

例2： アプリケーションの使いかたがわからない

各アプリケーションのヘルプなどで使いかたを確認します。

解消法

例2： アプリケーションの使いかたについて

各アプリケーションのヘルプで操作方法を確認したり、各アプリケーションのサポート窓口へお問い合わせください。

参照 アプリケーションのお問い合わせ先
「本章 4 お問い合わせ先」

STEP2　システム（OS）やドライバーに原因がある場合

トラブル	解消法
例3：正常に画面が表示されない、音が出ない、設定が合っているのにインターネットにつながらない	例3・例4：ドライバーを入れ直す 再起動をすると自動的にドライバーの検出を行う場合があります。再起動後、［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面が表示された場合は、画面の指示に従ってください。 参照 再起動「1章 4 - 2 - 再起動」
例4：青い画面で「STOPOX******」（一般に「STOPエラー」や「ブルースクリーン」「ブルーパニック」と呼ばれる画面）が表示された	例4：動作に影響を与えているアプリケーションや周辺機器を調べる 周辺機器やソフトをインストールしたあとに起こることが多いものです。その前に行った作業を一度元に戻すことでトラブルが解消される場合があります。 周辺機器を取りはずしたり、「システム構成ユーティリティ」でプログラムやサービスを停止して起動したりすることで調べることができます。

それでもトラブルが解消しない場合には、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

参照 『東芝PCサポートのご案内』

役立つ操作集

「システム構成ユーティリティ」で調べる

Windowsの動作が不安定な場合や動きが遅い場合、常駐アプリケーションや不要なサービスが影響を与えている場合があります。

まず、必要最低限のシステムで起動してみて、アプリケーションやサービスが影響を与えているかどうかを確認します。影響を与えているアプリケーションやサービスを詳しく調べるには「システム構成ユーティリティ」を使用します。

① ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［ファイル名を指定して実行］をタッチする

②「MSCONFIG」と入力して［OK］ボタンをタッチする
［システム構成］画面が表示されます。

③ ［全般］タブで［診断スタートアップ］を選択し、［OK］ボタンをタッチする
確認画面が表示されます。

④ ［再起動］ボタンをタッチする
Windowsが終了され、自動的に必要最低限のシステム構成で起動します。

その状態で動作の確認を行い、問題がなければ、アプリケーションやサービスがWindowsの動作に影響を与えています。

4章 困ったときは

STEP3 ハードウェア（パソコン本体や接続する機器）に原因がある場合

トラブル

例5： **ドライバーを入れ直しても機器が動かない**

➡

解消法

例5： **問い合わせる**

東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

参照 『東芝PCサポートのご案内』

周辺機器が動作しない場合は、各周辺機器のサポート窓口へお問い合わせください。

例6： **Power ⏻ LEDが点灯せず、パソコンがまったく動作しない**

➡

例6： **問い合わせる**

まったくパソコンが動作しない場合は、パソコン本体が故障している可能性があります。パソコンの操作について困ったときや、修理のご依頼は東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

参照 『東芝PCサポートのご案内』

2 トラブル対処法

トラブルが発生したときの解決手順を紹介します。

STEP1 本書の「Q&A集」から探す

本書の「Q&A集」では、トラブルの解決方法を説明しています。同じトラブルのQ&Aがないか、確認してみてください。

参照 「本章 2 Q&A集」

STEP2『オンラインマニュアル』を読む

本製品には『取扱説明書』(本書)と『オンラインマニュアル』があります。
『オンラインマニュアル』も読んでください。

参照 「1章 6 画面で見るマニュアル」

STEP3 サポートのサイトで調べる

インターネットに接続している場合は、「dynabook.com」をご覧ください。
東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」では、お問い合わせの多い質問や最新のQ&Aが掲載されています。

参照 「dynabook.com」について『東芝PCサポートのご案内』

サポートサイトの説明を読んでもトラブルが解決しない場合は、お問い合わせ専用フォームから質問メールを出すこともできます。

STEP4 それでもトラブルが解決しない場合は問い合わせる

- パソコン本体のトラブルの場合
  『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートにご連絡ください。
- OSやアプリケーションのトラブルの場合
  本製品に用意されているOS、アプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照 OSやアプリケーションのお問い合わせ先「本章 4 お問い合わせ先」

- 周辺機器のトラブルの場合
  各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照 周辺機器のお問い合わせ先 『周辺機器に付属の説明書』

2 Q&A集

1 電源を入れるとき／切るとき

Q 電源スイッチをスライドして指をはなしても、Power LEDが点灯しない

A 電源スイッチをスライドする時間が短いと電源が入らないことがあります。

確実に電源スイッチをスライドしてください。Power LEDが点灯することを確認してください。

Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう 電源が入らない

A バッテリーの充電量が少ない可能性があります。

本製品用のACアダプターを接続し、バッテリーを充電してください。
（他製品用のACアダプターは使用できません）

参照 バッテリーの充電について『オンラインマニュアル』

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。

A パソコン本体からいったん、電源コードとACアダプターをすべて取りはずしてください。

①電源コードとACアダプターを取りはずす
パソコンに接続している周辺機器も取りはずしてください。
そのままの状態で、しばらく放置してください。
②電源コードとACアダプターを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む
③電源スイッチをオリエンテーションロックボタン側にスライドし、指をはなす
確実に電源スイッチをスライドしてください。Power LEDが点灯することを確認してください。

参照 電源コードとACアダプターの接続
「1章 4 - 1 - 2 電源コードとACアダプターを接続する」

以上の手順でも解決できない場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q 電源を入れたが、システムが起動しない

A 起動ドライブを内蔵フラッシュメモリ以外に設定した場合に、システムの入っていない記録メディアがセットされている可能性があります。

システムが入っている記録メディアと取り換えるか、またはドライブから記録メディアを取り出してから、何かキーを押してください。
それでも正常に起動しない場合は、次のように操作してください。

①電源スイッチを5秒以上オリエンテーションロックボタン側にスライドして電源を切る
②音量大ボタン（＋）を押しながら、電源スイッチをオリエンテーションロックボタン側にスライドする
各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して *ENT* をタッチしてください。
③表示されたメニューからシステムの入っているドライブ（通常は内蔵フラッシュメモリを示す項目）をタッチし、Windowsボタン（⊞）を押す

A 次の手順を行うと、セーフモードまたは前回正常に起動したときの構成で起動し直すことができます。

電源スイッチを5秒以上オリエンテーションロックボタン側にスライドして強制終了したあと、次のように操作してください。

①外付けキーボードを接続する
②電源を入れる
③TOSHIBAロゴが表示されたら、メニューが表示されるまで *F8* キーを数回押す
各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して *ENT* をタッチしてください。そのあとすぐに、*F8* キーを再び数回押してください。
「詳細ブート オプション」が表示されます。
④目的に合わせて［セーフモード］または［前回正常起動時の構成（詳細）］を選択し、*ENTER* キーを押す

Q 使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
それでも電源が切れる場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A バッテリー駆動で使用している場合、バッテリーの充電量がなくなった可能性があります。

本製品用のACアダプターを接続し、バッテリーを充電してください。
(他製品用のACアダプターは使用できません)

参照 バッテリーの充電について『オンラインマニュアル』

Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

A Power LEDが白色に点灯している場合、省電力機能が働いた可能性があります。

しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っていますので、電源スイッチをスライドしないでください。
画面をタッチすると表示が復帰します。
テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

A Power LEDが白色に点滅しているか、消灯の場合、自動的にスリープまたは休止状態になった可能性があります。

一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスリープまたは休止状態にするように設定されています。
復帰させるには、電源スイッチをオリエンテーションロックボタン側にスライドしてください。
また、次の手順で設定を解除できます。

① [スタート] ボタン( ) → [コントロールパネル] をタッチする
② [システムとセキュリティ] → [電源オプション] をタッチする
③ 利用する電源プランを選択し、[プラン設定の変更] をタッチする
④ [ディスプレイの電源を切る] および [コンピューターをスリープ状態にする] で [なし] を選択する
　[バッテリ駆動] と [電源に接続] にそれぞれ設定してください。
⑤ [変更の保存] ボタンをタッチする

2 画面／表示

Q 青い画面（ブルースクリーン）が表示され、操作できなくなった

A 電源スイッチを５秒以上オリエンテーションロックボタン側にスライドしてWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。
強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A 以上の手順でも解決できない場合は、「本節 3 - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q しばらく放置したら、画面が真っ暗になった

A 省電力機能が働いた可能性があります。

しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っていますので、電源スイッチをスライドしないでください。
画面をタッチすると表示が復帰します。
テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

Q テレビまたは外部ディスプレイを接続した状態で、パソコンをスリープや休止状態から復帰したとき、本体液晶ディスプレイに何も表示されない

A テレビまたは外部ディスプレイに、画面表示が切り替わっている可能性があります。

テレビまたは外部ディスプレイの電源を入れて確認してください。パソコン画面が表示されていた場合は、『オンラインマニュアル』を参照して、本体液晶ディスプレイに表示を切り替えてください。

Q テレビまたは外部ディスプレイを取りはずしたときに、画面が表示されなくなった

A テレビまたは外部ディスプレイを接続してください。

テレビまたは外部ディスプレイを主ディスプレイに指定して拡張表示の設定をした場合、スリープや休止状態のときにテレビまたは外部ディスプレイを取りはずすと、スリープや休止状態から復帰したときに画面が表示されないことがあります。
テレビまたは外部ディスプレイの取りはずしは、スリープや休止状態のときに行わないでください。

Q 画面が薄暗く、よく見えない

A 「TOSHIBA Flash Cards」の［輝度］のカードで輝度を明るくしてください。

右にドラッグすると明るくなり、左にドラッグすると暗くなります。

A 本体液晶ディスプレイの輝度が低く設定されている可能性があります。

「電源オプション」には、本体液晶ディスプレイの輝度を落として消費電力を節約する機能があります。この機能で画面の明るさレベルを下げると、画面が暗くなります。
詳しくは、「電源オプション」のヘルプを参照してください。
次の手順で設定を変更してください。＊[1]

① ［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をタッチする
② ［ システムとセキュリティ］→［ 電源オプション］をタッチする
③ 利用する電源プランを選択し、［プラン設定の変更］をタッチする
④ ［プランの明るさを調整］を設定する
　［バッテリ駆動］と［電源に接続］をそれぞれ設定してください。
⑤ ［変更の保存］ボタンをタッチする

＊1 この設定は、テレビと外部ディスプレイには反映されません。

A 画面の明るさが自動調整された可能性があります。

「TOSHIBA Desk Band」で画面の明るさを自動調整する機能（Adaptive Display）が有効に設定されている場合、その場の環境光に合わせて画面の明るさが自動調整されます。
自動調整の機能を無効にしたい場合は「TOSHIBA Desk Band」の［Adaptive Display］アイコンをタッチしてください。
手動で画面の明るさを調整したい場合は、「TOSHIBA Desk Band」の［Flash Cards］アイコンをタッチ→［輝度］のカードをタッチして、表示されたスライダーバーのつまみをドラッグしてください。＊[1]

＊1 この設定は、テレビと外部ディスプレイには反映されません。

参照 『オンラインマニュアル』

4章 困ったときは

A 照度センサーをふさいでいないかどうか確認してください。
照度センサーを指でふさいだり、照度センサーの上にシールなどを貼り付けたりしていないことを確認してください。
「TOSHIBA Desk Band」で画面の明るさを自動調整する機能（Adaptive Display）が有効に設定されている場合、照度センサーをふさいでいると、画面が薄暗くなることがあります。

参照 照度センサー「1章 2 各部の名称」

Q 画面が回転する／回転しない

A 本製品は、手に持っているときの角度に合わせて画面表示が回転します。
オリエンテーションロックボタンで、本製品をどの角度で持っても回転しないように設定することもできます。

参照 画面の向きを設定する『オンラインマニュアル』

3 システム／内蔵フラッシュメモリ

Q パソコンが応答しなくなった

A アプリケーションを終了できない場合や、アプリケーションを終了してもトラブルが解消しない場合は、パソコンを再起動してください。

参照 再起動「1章 4 - 2 - 再起動」

A Windows起動時に問題が起きた場合や、パソコンを再起動できない場合は、電源スイッチを5秒以上オリエンテーションロックボタン側にスライドしてWindowsを強制終了してください。
システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。
強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A 以上の手順でも解決できない場合は、「本項 - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q Windowsがセーフモードで起動した

A パソコンを再起動してください。

参照 再起動「1章 4 - 2 - 再起動」

A 以上の手順でも解決できない場合は、「本項 - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない

A ドライバーやシステムのアップデート中（更新中）にトラブルが発生した場合は、直前の正常に起動したときの構成で起動してください。

参照 前回正常に起動したときの構成で起動する
「本節 1 - Q 電源を入れたが、システムが起動しない」

A アプリケーションをインストールしてから、この問題が発生するようになった場合は、インストールしたアプリケーションがWindowsの動作に影響している可能性があります。

アプリケーションをアンインストールしてください。

参照 アンインストール『アプリケーションに付属の説明書』

A 周辺機器を接続してから、この問題が発生するようになった場合は、接続した周辺機器がWindowsの動作に影響している可能性があります。

周辺機器を取りはずしてください。周辺機器によっては、周辺機器に付属のドライバーやアプリケーションをパソコンにインストールしている場合があります。これらのドライバーやアプリケーションもアンインストールしてください。

参照 周辺機器の取り扱いについて『周辺機器に付属の説明書』

4 タッチ（ソフトキーボード／ソフトタッチパッド）

Q タッチしても反応がない

A システムが処理中の可能性があります。

ポインターが輪の形（ ）をしている間は、システムが処理をしている状態のため、タッチやマウス、外付けキーボードなどの操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

A 省電力機能が働いた可能性があります。

しばらく操作しないと、省電力機能が働き、反応しなくなる場合があります。
もう一度タッチしてください。動作が復帰します。

Q タッチの感度を調節したい

A 次の手順で、タッチの感度を調節してください。

① [スタート] ボタン（ ）→ [コントロールパネル] をタッチする
② [ハードウェアとサウンド] → [ペンとタッチ] をタッチする
[ペンとタッチ] 画面が表示されます。
③ [フリック] タブの [感度] で [ペン] または [タッチ] のスライダーバーを左右にドラッグする
④ [OK] ボタンをタッチする

Q タッチの反応位置を調整したい

A 次の手順で、タッチの反応位置を調整してください。

① [スタート] ボタン（ ）→ [コントロールパネル] をタッチする
② [ハードウェアとサウンド] → [Tablet PC 設定] をタッチする
[Tablet PC 設定] 画面が表示されます。
③ [画面] タブの [ディスプレイ オプション] の [ディスプレイ] で [モバイルPCディスプレイ] を選択する
④ [調整] ボタンをタッチする
[ペンまたはタッチ入力画面の調整] 画面が表示された場合は、該当する項目を選択してください。
⑤ 黒く太い線で「＋」が表示されるたびに、その位置をタッチする
⑥ 調整データの保存メッセージが表示されたら、[はい] をタッチする

5 マウス

＊マウスは、別売りです。

Q クリックしても反応がない

A マウスが正しく接続されていない可能性があります。

マウスとパソコン本体が正しく接続されていないと、マウスの操作はできません。マウスのプラグを正しく接続してください。

Q レーザーマウスの反応がおかしい

A 光の反射が正しく認識されていない可能性があります。

反射しにくい素材の上で使うと正しくセンサーが働かず、ポインターがうまく動きません。次のような場所では動作が不安定になる場合があります。

- 光沢のある表面（ガラス、鏡など）

A 平らな場所でマウスを操作しているか確認してください。
マウスは、平らな場所で操作してください。マウスの下にゴミなどがある場合は取り除いてください。

Q 光学式マウスの反応がおかしい

A 光の反射が正しく認識されていない可能性があります。
反射しにくい素材の上で使うと正しくセンサーが働かず、ポインターがうまく動きません。次のような場所では動作が不安定になる場合があります。

- 光沢のある表面（ガラス、研磨した金属、ラミネート、光沢紙、プラスチックなど）
- 画像パターンの変化が非常に少ない表面（人工大理石、新品のオフィスデスクなど）
- 画像パターンの方向性が強い表面（正目の木材、立体映像の入ったマウスパッドなど）

明るめの色のマウスパッドや紙など、光の反射を認識しやすい素材を使ったものの上で使用してください。
光学式マウスに対応したマウスパッドの使用を推奨します。
光学式マウスに対応していないものやマウスパッドの模様によっては、正常に動作しない場合があります。

A 平らな場所でマウスを操作しているか確認してください。
マウスは、平らな場所で操作してください。マウスの下にゴミなどがある場合は取り除いてください。

6 メッセージ

Q 「パスワードを入力してください」と表示された

A Windows上のユーティリティまたはBIOSセットアップで設定したBIOSパスワードを入力し、ENTをタッチしてください。
パスワードを忘れた場合は、使用している機種（型番）を確認後、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。有料にてパスワードを解除します。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 「HDD/SSDのパスワードを入力してください」と表示された

A BIOSセットアップで設定したHDDパスワードを使って認証を行ってください。
HDDパスワードを入力し、ENTをタッチします。
HDDパスワードを忘れてしまった場合は、内蔵フラッシュメモリは永久に使用できなくなり、交換対応となります。東芝PCあんしんサポートに連絡してください。交換対応は有料です。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された

A 日付と時刻を設定してください。

Windows Updateやアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。

参照 日付と時刻の設定について『Windows ヘルプとサポート』

Q 次のようなメッセージが表示された

- 「Insert system disk in drive.Press any key when ready」
- 「Non-System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- 「Invalid system disk Replace the disk,and then press any key」
- 「Boot:Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- 「Disk I/O error Replace the disk,and then press any key」
- 「Cannot load DOS press key to retry」
- 「Remove disks or other media.Press any key to restart」
- 「NTLDR is missing Press any key to restart」

A 外付けのCD／DVDや、USBフラッシュメモリなどの起動ディスクを取り出し、何かキーを押してください。

上記の操作を行っても解決しない場合は、『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q その他のメッセージが表示された

A 『使用しているシステムやアプリケーションに付属の説明書』を確認してください。

7 その他

Q 内蔵フラッシュメモリからリカバリーできなくなったときは

A 内蔵フラッシュメモリに搭載されているリカバリー（再セットアップ）ツール（システムを復元するためのもの）のデータが破損、もしくは誤って消去されている可能性があります。
また、市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリーができなくなることがあります。
「TOSHIBA Recovery Media Creator」で作成したリカバリーメディアを使って、リカバリーしてください。

参照 リカバリーの操作方法「3章 3 - 3 リカバリーメディアからリカバリーをする」

リカバリーメディアがない場合は、修理が必要になる可能性があります。東芝PCあんしんサポートに相談してください。

参照 修理のお問い合わせについて『東芝PCサポートのご案内』

Q 本製品に飲み物をこぼしてしまった

A 飲み物など液体がこぼれて内部に入ると、感電、本体の故障、作成データの消失などのおそれがあります。
もし、液体が本製品内部に入ったときは、ただちに電源を切り、ACアダプターと電源コードを取りはずして、東芝PCあんしんサポートにご相談ください。

Q 異常なにおいや過熱に気づいた！

A パソコン本体、周辺機器の電源を切り、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。安全を確認してACアダプターをパソコン本体から取りはずしてから東芝PCあんしんサポートに相談してください。
なお、連絡の際には次のことを伝えてください。

- 使用している機器の名称
- 購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください）

参照 修理のお問い合わせについて『東芝PCサポートのご案内』

Q しばらく本製品を使用しないでいたら、時計と日付が変更されてしまった

A バッテリーの充電量が不足しています。

ACアダプターを接続後、日付と時刻を設定してください。

参照 日付と時刻の設定方法『Windows ヘルプとサポート』

時計用バッテリーは、電源ON（Power LEDが白色に点灯）の状態にしておくと約24時間で充電が完了します。時計用バッテリー充電中でもパソコンを使用できます。充電中に充電状態を知ることはできません。
充電してもしばらくすると内蔵時計が合わなくなる場合は、時計用バッテリーの充電機能が低下している可能性があります。「東芝PCあんしんサポート」に連絡してください。

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

A 「トラブル対処法」を確認してください。

本書の「トラブル対処法」では、トラブルを解決するための対処手順を説明しています。ご確認ください。

参照 「本章 1 - 2 トラブル対処法」

A パソコン本体のトラブルの場合は、『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A OSやアプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照 OSやアプリケーションのお問い合わせ先「本章 4 お問い合わせ先」

A 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属の説明書』

Q パソコンの近くにあるテレビやラジオの調子がおかしい

A 次の操作を行ってください。

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
- テレビ、ラジオに対するパソコン本体の方向を変える
- パソコン本体をテレビ、ラジオから離す
- テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
- 受信機に屋外アンテナを使う
- 平行フィーダを同軸ケーブルに替える

3 捨てるとき／人に譲るとき

1 お客様登録の削除について

● **ホームページから削除する**

東芝ID（TID）をお持ちの場合はこちらからお願いします。

①インターネットで「http://toshibadirect.jp/room1048/」へ接続する

②ページ右の［ログイン］をタッチする

［ログイン］画面が表示されます。

③［東芝ID（TID）］と［パスワード］に入力し、［ログイン］ボタンをタッチする

マイページが表示されます。

④ページ右下の［退会］をタッチする

※退会ではなく、商品の削除のみのお客様は、マイページの「登録済み商品一覧」で商品削除を行ってください。

※Room1048を退会されますと、「東芝ダイレクト」での購入履歴やRoom1048会員限定サービスなどもご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

● **電話で削除する**

「東芝ID事務局（お客様情報変更）」までご連絡ください。

● 東芝ID事務局（お客様情報変更）

TEL　　：0570-09-1048（ナビダイヤル）

受付時間 ：10:00～17:00（土・日、祝日、東芝特別休日を除く）

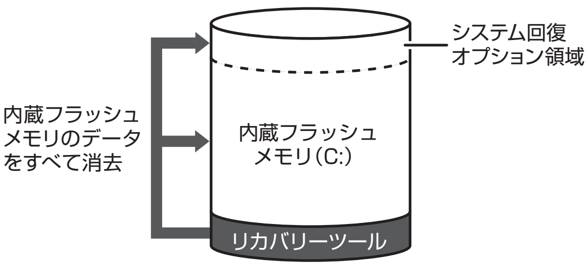
紹介しているホームページや電話番号は、お客様登録の内容変更や削除に関するお問い合わせ窓口です。

技術的なご相談や修理に関するお問い合わせは、『東芝PCサポートのご案内』を確認してください。

またリサイクルに関しては、『東芝PCサポートのご案内』を参照してください。

2 内蔵フラッシュメモリの内容をすべて消去する

パソコン上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。



（内蔵フラッシュメモリの
リカバリーツールを使用する場合）

なお、内蔵フラッシュメモリに保存されている、データやプログラムなどはすべて消失します。パーティションも消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。

操作手順

内蔵フラッシュメモリの内容を削除するには、内蔵フラッシュメモリのリカバリーツール、または作成したリカバリーメディアを使用します。
内蔵フラッシュメモリのリカバリーツールを使用すると、内蔵フラッシュメモリ内のデータはすべて消去されますが、リカバリーツールは残ります。作成したリカバリーメディアを使用すると、内蔵フラッシュメモリ内のデータと共にリカバリーツールも消去されます。

メモ

- 内蔵フラッシュメモリのリカバリー（再セットアップ）ツール（システムを復元するためのもの）を削除した場合は、内蔵フラッシュメモリからのリカバリーはできません。
  その場合は、あらかじめ「TOSHIBA Recovery Media Creator」で作成したリカバリーメディアからリカバリーを行ってください。

■内蔵フラッシュメモリのリカバリーツールから行う方法

1 パソコンの電源を切る

2 ACアダプターと電源コードを接続する

3 音量大ボタン（＋）を押しながら電源を入れ、表示されたメニューから［<HDDリカバリー>］をタッチし、Windowsボタン（⊞）を押す

参照 電源の入れかた「1章 4 - 3 電源を入れる」

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して ENT をタッチしてください。
メッセージ画面が表示されます。

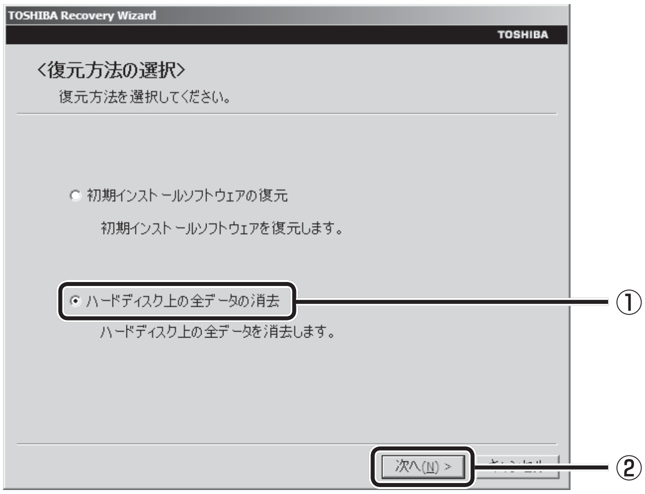
4 **画面の内容を確認し、［はい］または［Yes］をタッチし、Windowsボタン（ ）を押す**

メッセージ画面が表示されます。

5 **画面の内容を確認し、［はい］ボタンをタッチする**

［復元方法の選択］画面が表示されます。

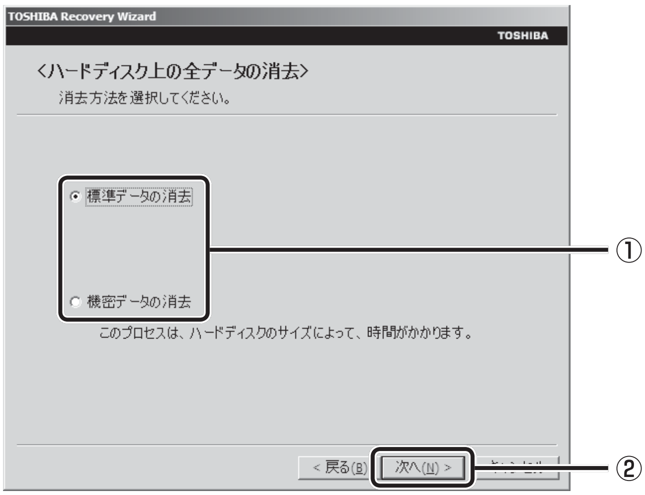
6 **［ハードディスク上の全データの消去］をチェックし①、［次へ］ボタンをタッチする②**



消去方法を選択する画面が表示されます。

7 **目的に合わせて、［標準データの消去］または［機密データの消去］をチェックし①、［次へ］ボタンをタッチする②**

通常は［標準データの消去］を選択してください。データを読み取れなくなります。より確実にデータを消去するためには、［機密データの消去］を選択してください。数時間かかりますが、データは消去されます。

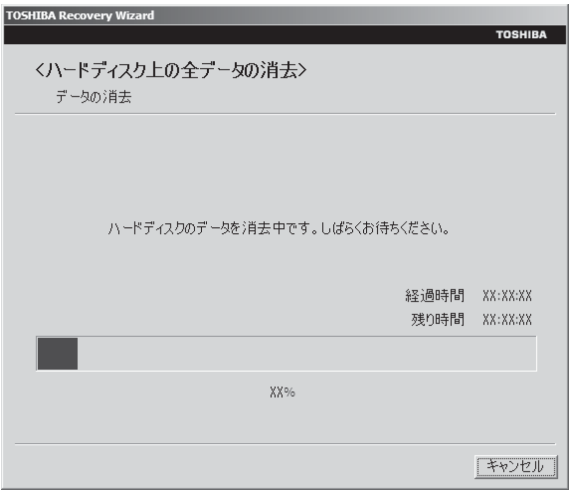


［データの消去を開始します。］画面が表示されます。

8 **［次へ］ボタンをタッチする**

処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをタッチしてください。

［次へ］ボタンをタッチすると消去が実行され、消去中は次の画面が表示されます。



消去が完了すると、終了画面が表示されます。

9 **［終了］ボタンをタッチする**

■リカバリーメディアから行う方法

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 リカバリーメディアの作成『オンラインマニュアル』

市販の外付けDVDドライブを使用して、DVDのリカバリーメディアを使用する場合は、USBハブなどを使い、あらかじめDVDドライブを接続してください。

参照 接続方法『DVDドライブに付属の説明書』

1 **ACアダプターと電源コードを接続する**

2 **リカバリーメディアをセットして、パソコンの電源を切る**

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、「ディスク1」からセットしてください。
USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

参照 USBフラッシュメモリの場合『オンラインマニュアル』
外付けのDVDドライブの場合『DVDドライブに付属の説明書』

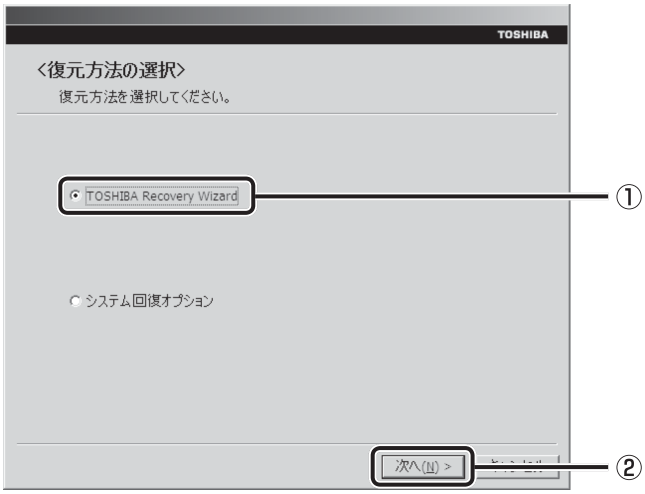
3 **音量大ボタン（ ＋ ）を押しながら電源を入れ、表示されたメニューから［ODD］または［USB］をタッチし、Windowsボタン（ ）を押す**

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して ENT をタッチしてください。

参照 電源の入れかた「1章 4 - 3 電源を入れる」

リカバリーメディアがDVDの場合は外付けのDVDドライブを示す項目（［ODD］など）、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目（［USB］など）を選択してください。
［復元方法の選択］画面が表示されます。

4 **［TOSHIBA Recovery Wizard］をチェックし①、［次へ］ボタンをタッチする②**



以降は、「本節 2 -内蔵フラッシュメモリのリカバリーツールから行う方法」の手順 5 以降を参照してください。

4章 困ったときは

4 お問い合わせ先
－OS／アプリケーション－

本製品に用意されているOS、アプリケーションのお問い合わせ先を紹介しています。
各アプリケーションを使っていて困ったときは、こちらに連絡してください。

＊2011年12月現在の内容です。
各社の事情で、受付時間などが変更になる場合があります。

1 OSのお問い合わせ先

Windows 7に関する一般的なお問い合せ先は、東芝PCあんしんサポートになります。

Windows 7に関する一般的なサポート情報は、以下のホームページでもご確認いただくことができます。

http://support.microsoft.com

2 アプリケーションのお問い合わせ先

各アプリケーションのユーザー登録については、それぞれのお問い合わせ先までお問い合わせください。
用意されているアプリケーションはご購入のモデルにより異なります。

Microsoft Office Excel／Microsoft Office OneNote／Microsoft Office Outlook／Microsoft Office PowerPoint／Microsoft Office Word

サポート受付窓口

●基本操作に関するお問い合わせ

＜メール サポート＞

以下の Web サイトにアクセスし、ご質問または問題に関連する製品を選択してください。

URL ：http://support.microsoft.com/oas/
受付時間 ：24時間いつでも受け付けています。

＜電話サポート＞

電話番号 ：0120-54-2244
※ご利用の際は、電話番号をお間違えないようご注意ください。
※音声ガイダンスが流れますので、ガイダンスに従って番号のご選択をお願いいたします。

受付時間 ：月曜日～金曜日：9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 19:00
土曜日：10:00 ～ 17:00
（祝日、日本マイクロソフト株式会社指定休業日を除きます。日本マイクロソフト株式会社指定休業日以外で日曜日が祝日である場合には、日曜日は上記土曜日と同様の受付を行い、翌日の振替休日が休業となります。）

● **サポート有効期間** ：お客様が初めてお問い合わせいただいた日から起算して90日間（※）
※サポート ライフサイクル期間内

お問い合わせに関する詳細は、本体に同梱されている冊子『Office 2010 お使いになる前に』をご覧ください。

ウイルスバスター2012 クラウドTM 90日版

ウイルスバスターサービスセンター

受付時間 ： 9:30～17:30
TEL ： 0570-008326
03-5334-1035（IP電話・光電話からのお問い合わせ）
E-mail ： http://tmqa.jp/r924/
ホームページ ： http://tmqa.jp/toshiba/

i-フィルター6.0（90日版）		
デジタルアーツ株式会社　サポートセンター		
受付時間	：	平日 10:00～18:00、土・日・祝日 10:00～18:00 （デジタルアーツ指定休業日を除く）
TEL	：	0570-00-1334
E-mail	：	p-support@daj.co.jp
ホームページ	：	【よくある質問】　http://www.daj.jp/cs/support/pc/if6/ 【お問い合わせフォーム】　http://www.daj.jp/ask/

Yahoo! ツールバー		
ヤフー株式会社　Yahoo! ツールバーヘルプ		
ホームページ	：	http://help.yahoo.co.jp/help/jp/toolbar/

Adobe Flash Player／Adobe Reader／ConfigFree／Internet Explorer／Java™ 2 Runtime Environment／PC引越ナビ／TOSHIBA Bulletin Board／TOSHIBA Desk Band／TOSHIBA Disc Creator／TOSHIBA ecoユーティリティ／TOSHIBA Flash Cards／TOSHIBA Recovery Media Creator／TOSHIBA ReelTime／TPM／Windows Live Messenger／Windows Live Writer／Windows Live フォトギャラリー／Windows Live ムービーメーカー／Windows Live メール／Windows Media Center／Windows Media Player／オンラインマニュアル／東芝HWセットアップ／東芝PC診断ツール／東芝PCヘルスモニタ／東芝ウェブカメラアプリケーション／東芝サービスステーション／東芝ファイル同期ユーティリティ／東芝ボタンサポート／東芝無線LANインジケーター
東芝（東芝PCあんしんサポート） 全国共通電話番号 ： 0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料） おかけいただくと、ガイダンスが流れます。ガイダンスに従って操作してください。 技術的な質問、お問い合わせは、ガイダンスの後で [1] をプッシュしてください。 技術相談窓口　受付時間：9:00～19:00（年中無休） [電話番号はおまちがえないよう、ご確認の上おかけください] 海外からの電話、携帯電話、PHS、または直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。 システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。日程は、dynabook.com「サポート情報」（http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm）にてお知らせいたします。 お客様の個人情報の取り扱い全般に関する当社の考えかたをご覧になりたいかたは、（株）東芝の個人情報保護方針のページ（http://www.toshiba.co.jp/privacy/index_j.htm）をご覧ください。

付録

本製品の機能を使用するにあたってのお願いや技術基準適合などについて記しています。

1 ご使用にあたってのお願い

本書で説明している機能をご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。

1 パソコン本体について

画面の操作にあたって

- 画面を強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。
- 画面上に物を置くなど、同じ位置に外圧を与え続けないでください。
- 画面が割れた場合は、画面を指で触れないでください。
- 画面が汚れた場合は、柔らかくきれいな乾いた布で軽くふきとってください。
- 画面にフィルムなどを貼らないでください。
  正しく操作できないおそれがあります。

付録

スイッチ／ボタンの操作にあたって

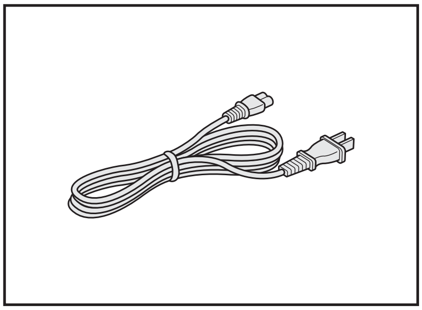
- スイッチ／ボタンを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。スイッチ／ボタンが故障するおそれがあります。

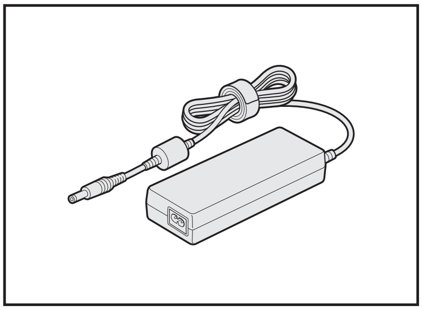
機器への強い衝撃や外圧について

- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- パソコンの表面を硬いものでこすると傷がつくことがあります。
  取り扱いにはご注意ください。

2 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- 電源コードやケーブルは束ねずに、ほどいた状態で使用してください。ご使用時は、あらかじめ『安心してお使いいただくために』に記載されている記述をよく読み、必ず指示を守ってください。
- 電源コードやACアダプターを持ち運ぶときには、次の図のように正しくケーブルを束ねてください。





電源コード、ACアダプターは、購入されたモデルにより異なります。

3 ウイルスチェック・セキュリティ対策について

使用するにあたって

- 本製品に用意されている「ウイルスバスター」は90日間の使用期限があります。必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを導入してください。
- ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトをご使用になる場合には、必ずウイルス定義ファイルの最新版を使用してください。
  ウイルス感染を防止するには、常に最新のウイルス定義ファイルが必要です。
- すでにインストールしてあるウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトとは別のウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトをインストールする場合は、すでにインストールしているものをすべてアンインストールしてから行ってください。

参照 ウイルスバスターのセキュリティ機能について「ウイルスバスター」のヘルプ

4 「i-フィルター6.0」について

使用期限について

- 無料使用期間はご使用開始より90日間です。無料使用期間が過ぎますと、設定がすべて解除されフィルタリング機能がご使用できなくなります。無料使用期間中に有料にて正規サービスをお申し込みいただくことで、継続して使用することができます。

5 バックアップについて

バックアップをとるにあたって

- ユーザー名がリカバリー後と異なる場合、バックアップしたデータが復元できない場合があります。リカバリーをする前にユーザー名を控えてください。

参照 リカバリーについて「3章 買ったときの状態に戻すには」

- 内蔵フラッシュメモリや記録メディアに保存しているデータは、万が一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて定期的にバックアップをとって保存してください。
  内蔵フラッシュメモリや記録メディアに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いません。

6 ペンの取り扱いと手入れ

＊ペン付属モデルの場合

- 誤った使いかたをすると画面に傷がつくおそれがありますので、次のことを守ってください。
  - ・付属のペン以外（特に先端の鋭いもの）で画面を押さない
  - ・爪や、指輪などの金属が画面に触れないようにする
  - ・画面をむやみに強く押さない
- ペン先をディスプレイ上に強く押しつける、叩きつけるような使いかたをしないでください。また、ペンを使用する前にペン先が短くなっていないかをご確認ください。
- 湿度変化の激しい場所や直射日光の当たる車の中での使用、保管はお避けください。
- ペン先に必要以上の荷重を加えると寿命が短くなったり特性劣化につながりますので、無理な力を加えないでください。
- 調整がずれたり、寿命が縮まる可能性がありますのでペンを分解しないでください。
- 化粧品や薬品がペンに付くと、外観や品質の劣化につながりますのでご注意ください。お手入れの際はアルコール、シンナー、ベンジンなど揮発性の液体は避け、シリコンクロスや乾いた布を使用してください。
- 曲がったり変形したペン先を使いますとペンが誤動作することがありますので、ペン先に無理な力を加えたり曲げたりしないでください。
- ペン先などの小さな部品が、幼児などの口に入らないようにご注意ください。
- 不特定多数のユーザーが使用するなど、上記内容を管理できないような環境で使用されて品質問題が発生した場合は、当社としては責任を負いかねます。
- ペンは消耗品です。
  ペンを破損した場合は、本製品の購入元に確認してください。
- ディスプレイの表示部の範囲を超えないように（表示部からペンを飛び出させないように）使用してください。

デジタイザーペン付属モデルの場合

- 使用するには単6形の乾電池が必要です。乾電池をセットしていてもペン入力が正常に行えない場合、電池不足の可能性があります。新しい単6形電池と交換してください。電池を交換するときは、ペン先とは反対側のフタをはずし、乾電池のプラス（＋）側を下にしてセットしてください。付属の乾電池は動作確認用です。
- ペンは精密部品によって構成されています。強い衝撃が加わると誤動作や特性劣化につながりますので、落としたりぶつけたりしないようにしてください。
- 磁石、スピーカー、テレビ、磁気ブレスレットなど磁気を発するものの近くで使用しないでください。
- ボタンに荷重を加え続けると、誤動作したり特性劣化につながりますので、ボタンに荷重が加わらないように保管してください。
- ペン先を交換するときは、ペン先を持ってそのまま引き抜き、予備のペン先をまっすぐ差し込んでください。

2 技術基準適合について

『オンラインマニュアル』にも技術基準適合に関する説明が記載されています。本書だけでなく、『オンラインマニュアル』の記載もあわせてご確認ください。

■瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

■高調波対策について

参照 『オンラインマニュアル』

■電波障害自主規制について

参照 『オンラインマニュアル』

■「FCC information」について

参照 『オンラインマニュアル』

■EU Declaration of Conformityについて

This product is carrying the CE-Mark in accordance with the related European Directives. Responsible for CE-Marking is TOSHIBA Europe GmbH, Hammfelddamm 8, 41460 Neuss, Germany. The complete and official EU Declaration of Conformity can be found on TOSHIBA's web site
http://epps.toshiba-teg.com on the Internet.

CE compliance

This product is labelled with the CE Mark in accordance with the related European Directives, notably Electromagnetic Compatibility Directive 2004/108/EC for the notebook and the electronic accessories including the supplied power adapter, the Radio Equipment and Telecommunications Terminal Equipment Directive 1999/5/EC in case of implemented telecommunication accessories and the Low Voltage Directive 2006/95/EC for the supplied power adapter. Furthermore the product complies with the Ecodesign Directive 2009/125/EC (ErP) and its related implementing measures.
This product and the original options are designed to observe the related EMC (Electromagnetic Compatibility) and safety standards. However, TOSHIBA cannot guarantee that this product still observes these EMC standards if options or cables not produced by TOSHIBA are connected or implemented. In this case the persons who have connected/implemented those options/cables have to provide assurance that the system (PC plus options/cables) still fulfils the required standards. To avoid general EMC problems, the following guidance should be noted:

- Only CE marked options should be connected/implemented
- Only best shielded cables should be connected

Working environment

This product was designed to fulfil the EMC (Electromagnetic Compatibility) requirements to be observed for so-called “Residential, commercial and light industry environments”. TOSHIBA do not approve the use of this product in working environments other than the above mentioned “Residential, commercial and light industry environments”.
For example, the following environments are not approved:

- Industrial Environments (e.g. environments where a mains voltage of 380 V three-phase is used)
- Medical Environments
- Automotive Environments
- Aircraft Environments

Any consequences resulting from the use of this product in working environments that are not approved are not the responsibility of TOSHIBA.
The consequences of the use of this product in non-approved working environments may be:

- Interference with other devices or machines in the near surrounding area.
- Malfunction of, or data loss from, this product caused by disturbances generated by other devices or machines in the near surrounding area.

Therefore TOSHIBA strongly recommend that the electromagnetic compatibility of this product should be suitably tested in all non-approved working environments before use. In the case of automobiles or aircraft, the manufacturer or airline respectively should be asked for permission before use of this product.

Furthermore, for general safety reasons, the use of this product in environments with explosive atmospheres is not permitted.

3 無線LAN／Bluetoothについて

＊Bluetooth機能については、Bluetooth機能搭載モデルのみ対象となります。
＊5GHzの無線LANについては、IEEE802.11aをサポートしているモデルのみ対象となります。

1 無線LANの概要

本製品には、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11nのすべて、もしくはその一部に準拠した無線LANが搭載されています。
本書では、搭載された無線LANの種類によって説明が異なる項目があります。
使用しているパソコンに搭載された無線LANの種類の確認については、『オンラインマニュアル』をご覧ください。

■無線LANの仕様

無線周波数帯	IEEE802.11a, IEEE802.11n	5GHz（5150-5350MHz、および 5470-5725MHz）
	IEEE802.11b, IEEE802.11g, IEEE802.11n	2.4GHz（2400-2483MHz）
変調方式	IEEE802.11a, IEEE802.11g	直交周波数分割多重方式 OFDM-BPSK, OFDM-QPSK, OFDM-16QAM, OFDM-64QAM
	IEEE802.11b	直接拡散方式 DSSS-CCK, DSSS-DQPSK, DSSS-DBPSK
	IEEE802.11n	直交周波数分割多重方式（OFDM方式）

2 無線LANのサポートする周波数帯域

無線LANがサポートする5GHz帯および2.4GHz帯のチャネルは、国／地域で適用される無線規制によって異なる場合があります（表「無線IEEE802.11 チャネルセット」参照）。

■無線IEEE802.11 チャネルセット

- 5GHz帯：5150-5350MHz および、5470-5725MHz
  （IEEE802.11a、IEEE802.11nの場合）

	チャネルID	周波数
W52	36	5180
	40	5200
	44	5220
	48	5240
W53	52	5260
	56	5280
	60	5300
	64	5320
W56	100	5500
	104	5520
	108	5540
	112	5560
	116	5580
	120	5600
	124	5620
	128	5640
	132	5660
	136	5680
	140	5700

アクセスポイント側のチャネル（W52/W53/W56）に合わせて、そのチャネルに自動的に設定されます。

メモ

- W52、W53は電波法令により屋外で使用することはできません。
- IEEE802.11aおよびIEEE802.11nモードではアドホック通信は使用できません。
- アドホック通信でのピアツーピア接続は、Ch1～Ch11で使用できます。
- インフラストラクチャ通信でのアクセスポイントへの接続は、Ch1～Ch13，Ch36，Ch40，Ch44，Ch48，Ch52，Ch56，Ch60，Ch64，Ch100，Ch104，Ch108，Ch112，Ch116，Ch120，Ch124，Ch128，Ch132，Ch136，Ch140で使用できます。

● 2.4GHz帯：2400-2483MHz（IEEE802.11b/g、IEEE802.11nの場合）

チャネルID	周波数
1	2412
2	2417
3	2422
4	2427
5	2432
6	2437
7	2442
8	2447
9	2452
10	2457＊1
11	2462
12	2467
13	2472

＊1 購入時に、アドホックモード接続時に使用するチャネルとして設定されているチャネルです。

メモ

- IEEE802.11nモードではアドホック通信は使用できません。
- アドホック通信でのピアツーピア接続は、Ch1～Ch11で使用できます。
- インフラストラクチャ通信は、Ch1～Ch13で使用できます。

3 Bluetoothの物理仕様

ワイヤレス通信	通信方式	Bluetooth Specification Ver.3.0+HS
	無線周波数帯	2.4GHz（2402～2480MHz）
	変調方式	周波数ホッピング方式　2値FSK
	出力[*1]	最大＋4dBm（Power Class2）
	受信感度[*1]	－70dBm
	通信距離	見通し10m[*2]
電源電圧		3.3V
消費電力		最大200mA

＊1 アンテナの効率は含まれません。
＊2 周囲の電波環境、障害物、設置環境などにより異なります。

4 無線特性

無線LANおよびBluetoothの無線特性は、製品を購入した国／地域、購入した製品の種類により異なる場合があります。
多くの場合、無線通信は使用する国／地域の無線規制の対象になります。国／地域によって使用が規制されています。無線ネットワーク機器は、無線免許の必要ない5GHzおよび2.4GHz帯で動作するように設計されていますが、国／地域の無線規制により無線ネットワーク機器の使用に多くの制限が課される場合があります。
無線機器の通信範囲と転送レートには相関関係があります。無線通信の転送レートが低いほど、通信範囲は広くなります。

メモ

- アンテナの近くに金属面や高密度の固体があると、無線デバイスの通信範囲に影響を及ぼすことがあります。
- 無線信号の伝送路上に無線信号を吸収または反射し得る"障害物"がある場合も、通信範囲に影響を与えます。

5 本製品を日本でお使いの場合のご注意

日本では、本製品を第二世代小電力データ通信システムに位置付けており、その使用周波数帯は2,400MHz〜2,483.5MHzです。この周波数帯は、移動体識別装置（移動体識別用構内無線局及び移動体識別用特定小電力無線局）の使用周波数帯2,427MHz〜2,470.75MHzと重複しています。

■ステッカー

本製品を日本国内にてご使用の際には、本製品に付属されている次のステッカーをパソコン本体に貼り付けてください。

この機器の使用周波数帯は　2.4GHz帯です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

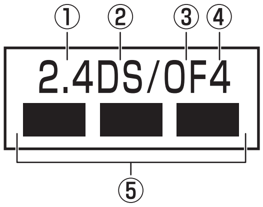
■東芝PCあんしんサポート

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、『東芝PCサポートのご案内』を参照してください。

❑ 無線LAN

■ 現品表示

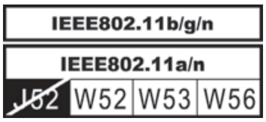
本製品または無線LANモジュールには、次に示す現品表示が記載されています。



（表示例）

① 2.4 ： 2,400MHz帯を使用する無線設備を表す。
② DS ： 変調方式がDS-SS方式であることを示す。
③ OF ： 変調方式がOFDM方式であることを示す。
④ 4 ： 想定される与干渉距離が40m以下であることを示す。
⑤ ■■■ ： 2,400MHz～2,483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

■ JEITAロゴ表記について

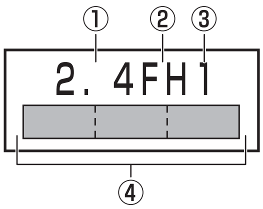


5GHz帯無線LANは、W52/W53/W56チャネルをサポートしています。

❑ Bluetooth

■ 現品表示

本製品またはBluetoothモジュールには、次に示す現品表示が記載されています。



（表示例）

① 2.4 ： 2,400MHz帯を使用する無線設備を表す。
② FH ： 変調方式がFH-SS方式であることを示す。
③ 1 ： 想定される与干渉距離が10m以下であることを示す。
④ ： 2,400MHz～2,483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する。

付録

6 機器認証表示について

本製品には、電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、認証を受けた無線設備を搭載しています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

■Intel b/g/n-WiMAXモジュールの場合

無線設備名 ： 612BNXHMW
株式会社　ディーエスピーリサーチ
認証番号　　： D100898003

■Intel b/gモジュールの場合（Bluetooth機能搭載）

無線設備名 ： 11230BNHMW
株式会社　ディーエスピーリサーチ
認証番号　　： D101044003

■AR5B225 b/g/nモジュールの場合（Bluetooth機能搭載）

無線設備名 ： AR5B225
株式会社　ディーエスピーリサーチ
認証番号　　： D110317003

■AR5B22 a/g/nモジュールの場合（Bluetooth機能搭載）

無線設備名 ： AR5B22
株式会社　ディーエスピーリサーチ
認証番号　　： D111398003

■WB195 b/g/n モジュールの場合（Bluetooth機能搭載）

無線設備名 ： AR5B195
株式会社　ディーエスピーリサーチ
認証番号　　： D091014003

本製品に組み込まれた無線設備は、本製品に実装して使用することを前提に、小電力データ通信システムの無線局として工事設計の認証を取得しています。したがって、組み込まれた無線設備をほかの機器へ流用した場合、電波法の規定に抵触するおそれがありますので、十分にご注意ください。

7 お知らせ

無線製品の相互運用性

■無線LAN

本製品に搭載されている無線LANは、Direct Sequence Spread Spectrum（DSSS）／Orthogonal Frequency Division Multiplexing（OFDM）無線技術を使用する無線LAN製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Institute of Electrical and Electronics Engineers（米国電気電子技術者協会）策定のIEEE802.11 Standard on Wireless LANs（Revision a/b/g/n）（無線LAN標準規格（版数 a/b/g/n））
- Wi-Fi Allianceの定義するWireless Fidelity（Wi-Fi）認証
  Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの認定マークです。

■Bluetooth

本製品に搭載されているBluetoothは、Frequency Hopping Spread Spectrum（FHSS）無線技術を使用するBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Bluetooth Special Interest Group策定のBluetooth Specification Ver.3.0+HS
- Bluetooth Special Interest Groupの定義するBluetooth ワイヤレステクノロジーのLogo認証

メモ

- 本製品はすべてのBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器との接続動作を確認したものではありません。ご使用にあたっては、Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器対応の動作条件と接続の可否情報を取扱元にご確認ください。

また下記の取り扱い上の注意点があります。

(1) Bluetooth Version1.0B 仕様のBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器とは互換性がありません。
(2) 2.4GHz帯の無線LANが近距離で使用されていると通信速度の低下または通信エラーが発生する可能性があります。
(3) Bluetoothと無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

健康への影響

本製品に搭載されている無線LANおよびBluetoothは、ほかの無線製品と同様、無線周波の電磁エネルギーを放出します。しかしその放出エネルギーは、携帯電話などの無線機器と比べるとはるかに低いレベルにおさえられています。
本製品に搭載されている無線LANおよびBluetoothの動作は無線周波に関する安全基準と勧告に記載のガイドラインにそっており、安全にお使いいただけるものと東芝では確信しております。この安全基準および勧告には、学会の共通見解と、多岐にわたる研究報告書を継続的に審査、検討している専門家の委員会による審議結果がまとめられています。
ただし周囲の状況や環境によっては、建物の所有者または組織の責任者が無線LANおよびBluetoothの使用を制限する場合があります。次にその例を示します。

- 飛行機の中で無線LANおよびBluetoothを用いた装置を使用する場合
- ほかの装置類またはサービスへの電波干渉が認められるか、有害であると判断される場合

個々の組織または環境（空港など）において無線機器の使用に関する方針がよくわからない場合は、無線通信機能をONにする前に、個々の組織または施設環境の管理者に対して、本製品の使用可否について確認してください。

規制に関する情報

本製品に搭載されている無線LANのインストールと使用に際しては、必ず製品付属の説明書に記載されている製造元の指示に従ってください。本製品は、無線周波基準と安全基準に準拠しています。

Regulatory statements

● General

This product complies with any mandatory product specification in any Country/ Region where the product is sold. In addition, the product complies with the following.

● European Union (EU) and EFTA

This equipment complies with the R&TTE directive 1999/5/EC and has been provided with the CE mark accordingly.

● Canada - Industry Canada (IC)

This device complies with RSS 210 of Industry Canada.
Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference , and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of this device.
L ' utilisation de ce dispositif est autorisee seulement aux conditions suivantes : (1) il ne doit pas produire de brouillage et (2) l' utilisateur du dispositif doit etre pret a accepter tout brouillage radioelectrique recu, meme si ce brouillage est susceptible de compromettre le fonctionnement du dispositif.
The term "IC" before the equipment certification number only signifies that the Industry Canada technical specifications were met.

● USA - Federal Communications Commission (FCC)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy. If not installed and used in accordance with the instructions, it may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by tuning the equipment off and on, the user is encouraged to try and correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the distance between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment to outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

TOSHIBA is not responsible for any radio or television interference caused by unauthorized modification of the devices included with this Bluetooth Card from TOSHIBA, or the substitution or attachment of connecting cables and equipment other than specified by TOSHIBA.
The correction of interference caused by such unauthorized modification, substitution or attachment will be the responsibility of the user.

Caution: Exposure to Radio Frequency Radiation.

■ Wireless LAN

The radiated output power of the Wireless LAN is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the Wireless LAN shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized.
In the usual operating configuration, the distance between the antenna and the user should not be less than 20cm. Please refer to the PC user's manual for the details regarding antenna location.
The installer of this radio equipment must ensure that the antenna is located or pointed such that it does not emit RF field in excess of Health Canada limits for the general population; consult Safety Code 6, obtainable from Health Canada's website
www.hc-sc.gc.ca/

■ Bluetooth

The radiated output power of the Bluetooth Card from TOSHIBA is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the Bluetooth Card from TOSHIBA shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. The antenna(s) used in this device are located at the upper/lower edge of the LCD screen, and this device has been tested as portable device as defined in Section 2.1093 of FCC rules when the LCD screen is rotated 180 degree and covered the keyboard area. In addition, Bluetooth has been tested with Wireless LAN transceiver for co-location requirements. This device and its antenna(s) must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.
The installer of this radio equipment must ensure that the antenna is located or pointed such that it does not emit RF field in excess of Health Canada limits for the general population; consult Safety Code 6, obtainable from Health Canada's website
www.hc-sc.gc.ca/

● Taiwan

Article 12　Without permission granted by the NCC, any company, enterprise, or user is not allowed to change frequency, enhance transmitting power or alter original characteristic as well as performance to a approved low power radio-frequency devices.

Article 14　The low power radio-frequency devices shall not influence aircraft security and interfere legal communications; If found, the user shall cease operating immediately until no interference is achieved.
The said legal communications means radio communications is operated in compliance with the Telecommunications Act.
The low power radio-frequency devices must be susceptible with the interference from legal communications or ISM radio wave radiated devices.

● Europe

■ Wireless LAN

Restrictions for Use of 2.4GHz Frequencies in European Community Countries

België/ Belgique:	For private usage outside buildings across public grounds over less than 300m no special registration with IBPT/BIPT is required. Registration to IBPT/BIPT is required for private usage outside buildings across public grounds over more than 300m. For registration and license please contact IBPT/BIPT.
	Voor privé-gebruik buiten gebouw over publieke groud over afstand kleiner dan 300m geen registratie bij BIPT/IBPT nodig; voor gebruik over afstand groter dan 300m is wel registratie bij BIPT/IBPT nodig. Voor registratie of licentie kunt u contact opnemen met BIPT.
	Dans le cas d'une utilisation privée, à l'extérieur d'un bâtiment, au-dessus d'un espace public, aucun enregistrement n'est nécessaire pour une distance de moins de 300m. Pour une distance supérieure à 300m un enregistrement auprès de I'IBPT est requise. Pour les enregistrements et licences, veuillez contacter I'IBPT.
Deutschland:	License required for outdoor installations. Check with reseller for procedure to follow.
	Anmeldung im Outdoor-Bereich notwendig, aber nicht genehmigungspflichtig. Bitte mit Händler die Vorgehensweise abstimmen.
France:	Restricted frequency band: only channels 1 to 7 (2400 MHz and 2454 MHz respectively) may be used outdoors in France.
	Bande de fréquence restreinte : seuls les canaux 1-7 (2400 et 2454 MHz respectivement) doivent être utilisés endroits extérieur en France. Vous pouvez contacter I'Autorité de Régulation des Télécommuniations (http://www.art-telecom.fr) pour la procédure à suivre.
Italia:	License required for indoor use. Use with outdoor installations not allowed.
	E'necessaria la concessione ministeriale anche per l'uso interno. Verificare con i rivenditori la procedura da seguire.
Nederland	License required for outdoor installations. Check with reseller for procedure to follow.
	Licentie verplicht voor gebruik met buitenantennes. Neem contact op met verkoper voor juiste procedure.

To remain in conformance with European spectrum usage laws for Wireless LAN operation, the above 2.4GHz channel limitations apply for outdoor usage. The user should use the Wireless LAN utility to check the current channel of operation. If operation is occurring outside of the allowable frequencies for outdoor use, as listed above, the user must contact the applicable national spectrum regulator to request a license for outdoor operation.

付録

8 使用できる国／地域について

＊2011年12月現在の内容です。

お願い

- 本製品は、次にあげる国／地域の無線規格を取得しております。これらの国／地域以外では使用できません。対応の国／地域以外では、無線通信機能をOFFにしてください。

❏ Intel b/g/n-WiMAX モジュール

日本

■ 無線LANに関する注意事項

- 無線LANとWiMAXは同時に使用できません。

❏ Intel b/gモジュール

日本

❏ AR5B225 b/g/nモジュール

アイスランド	韓国	中国	ペルー
アイルランド	カンボジア	チリ	ベルギー
アメリカ合衆国	ギリシャ	デンマーク	ポーランド
アラブ首長国連邦	クウェート	ドイツ	ボリビア
アルゼンチン	クロアチア	トルコ	ポルトガル
イギリス	ケニア	日本	ホンジュラス
イスラエル	コスタリカ	ニュージーランド	マルタ
イタリア	コロンビア	ネパール	南アフリカ
インド	サウジアラビア	ノルウェー	メキシコ
インドネシア	ジャマイカ	パキスタン	モナコ
ウクライナ	スイス	パプアニューギニア	モロッコ
ウルグアイ	スウェーデン	パラグアイ	ヨルダン
エクアドル	スペイン	ハンガリー	ラトビア
エジプト	スロバキア	フィリピン	リトアニア
オーストラリア	スロベニア	フィンランド	リヒテンシュタイン
オマーン	セルビア	ブラジル	ルクセンブルク
オランダ	タイ	フランス	レバノン
カタール	台湾	ベトナム	ロシア
カナダ	チェコ	ベネズエラ	

❑ AR5B22 a/g/n モジュール

アイスランド	カナダ	中国	ポーランド
アイルランド	韓国	チリ	ボスニア・ヘルツェゴビナ
アゼルバイジャン	カンボジア	デンマーク	ボリビア
アメリカ合衆国	キプロス	ドイツ	ポルトガル
アラブ首長国連邦	ギリシャ	日本	ホンジュラス
アルゼンチン	クウェート	ニュージーランド	マルタ
イギリス	クロアチア	ネパール	マレーシア
イスラエル	ケニア	ノルウェー	南アフリカ
イタリア	コスタリカ	バーレーン	メキシコ
インド	サウジアラビア	パキスタン	モロッコ
インドネシア	ジャマイカ	パプアニューギニア	ヨルダン
ウクライナ	シンガポール	パラグアイ	ラトビア
ウルグアイ	スイス	ハンガリー	リトアニア
エクアドル	スウェーデン	フィリピン	リヒテンシュタイン
エジプト	スペイン	フィンランド	ルーマニア
エストニア	スロバキア	ブラジル	ルクセンブルク
オーストラリア	スロベニア	フランス	レバノン
オーストリア	セルビア	ベトナム	ロシア
オマーン	タイ	ベネズエラ	
オランダ	台湾	ペルー	
カタール	チェコ	ベルギー	

❏WB195 b/g/n モジュール

アイスランド	キプロス	中央アフリカ	ペルー
アイルランド	ギリシャ	中国	ベルギー
アゼルバイジャン	キルギスタン	チリ	ポーランド
アメリカ合衆国	グアテマラ	デンマーク	ボスニア・ヘルツェゴビナ
アラブ首長国連邦	クウェート	ドイツ	ボツワナ
アルジェリア	グルジア	トーゴ	ボリビア
アルゼンチン	クロアチア	ドミニカ	ポルトガル
アルバニア	ケニア	トルクメニスタン	香港
アンゴラ	コートジボワール	トルコ	ホンジュラス
イエメン	コスタリカ	ナイジェリア	マダガスカル
イギリス	コモロ	ナミビア	マラウイ
イスラエル	コロンビア	ニカラグア	マルタ
イタリア	コンゴ民主共和国	ニジェール	マレーシア
インド	サウジアラビア	日本	南アフリカ
インドネシア	ザンビア	ニュージーランド	メキシコ
ウクライナ	シエラレオネ	ノルウェー	モーリシャス
ウルグアイ	ジブチ	バーレーン	モザンビーク
エクアドル	シンガポール	パキスタン	モナコ
エジプト	ジンバブエ	パナマ	モロッコ
エストニア	スイス	パラグアイ	モンテネグロ
エルサルバドル	スウェーデン	ハンガリー	ヨルダン
オーストラリア	スペイン	バングラデシュ人民共和国	ラトビア
オーストリア	スリランカ	フィリピン	リトアニア
オマーン	スロバキア	フィンランド	リビア
オランダ	スロベニア	プエルトリコ	リヒテンシュタイン
ガーナ	スワジランド	ブラジル	リベリア
カザフスタン	セネガル	フランス	ルーマニア
カタール	セルビア	ブルガリア	ルクセンブルク
カナダ	タイ	ブルキナファソ	ルワンダ
カメルーン	台湾	ブルンジ	レソト
韓国	タジキスタン	ベトナム	レバノン
ガンビア	チェコ	ベネズエラ	レユニオン
カンボジア	チャド	ベラルーシ	

さくいん

<MEMO>

リカバリー（再セットアップ）チェックシート

リカバリーは、本ページをコピーするなどして、次の項目を順番にチェックしながら実行してください。本ページに記載されている各チェック項目の詳細は、「3章 買ったときの状態に戻すには」で説明しています。

1 リカバリーをする前に確認すること

□ ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する
□ セーフモードで起動できるかどうか実行してみる
□ 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認してみる
□「4章 困ったときは」をご覧になり、ほかのトラブル解消方法を探してみる
□ システムの復元で以前の状態に復元する

2 リカバリーをはじめる前にしておくこと

□ **①準備するもの**
　□『取扱説明書』（本書）
　□ このリカバリーチェックシートをコピーしたもの
　□ リカバリーメディア（作成したリカバリーメディアからリカバリーする場合）
□ **②必要なデータのバックアップをとる**
　バックアップをとることができる場合は、とっておいてください。リカバリーをすると、購入後に作成したデータはすべて消失します。
　□［ドキュメント］（または［マイ ドキュメント］）、［ピクチャー］（または［マイ ピクチャー］）などのデータ
　□ 購入後にデスクトップに保存したデータ
　□ Microsoft Internet Explorerの［お気に入り］のデータ
　□ メール送受信データ　□メールアドレス帳
　□ プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
　□ 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
　□ 購入後に作成したフォルダーやファイル
　参照 バックアップについて『オンラインマニュアル』
□ **③アプリケーションのセットアップ用のメディアを確認する**
　購入後にインストールしたアプリケーションなどは、リカバリー後にインストールする必要があります。リカバリーした直後は、お客様がインストールしたソフトなどは復元されません。ご購入されたメディアなどから再度インストールしてください。
□ **④各種設定を確認する**
□ **⑤あらかじめ、音量を調節する**
　リカバリー後、Windows セットアップが終了するまで音量の調節ができないためです。
□ **⑥無線LAN機能がONであるか確認する**
□ **⑦周辺機器をすべて取りはずす**

3 リカバリー（再セットアップ）の流れ

リカバリーをする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

□ ①リカバリー（再セットアップ）
□ ②周辺機器（マウス・プリンターなど）を取り付けて、設定する
□ ③インターネットやメールの設定
□ ④ウイルスチェックソフトの設定と更新
□ ⑤Windows Update
□ ⑥アプリケーションのインストール
□ ⑦データの復元

東芝PCあんしんサポート

技術的なご質問、お問い合わせ、修理のご依頼をお受けいたします。

本製品に用意されているOS、アプリケーションのお問い合わせ先は、
本書「4章 **4** お問い合わせ先」でご案内しております。

全国共通電話番号 **0120-97-1048**（通話料・電話サポート料無料）

おかけいただくと、ガイダンスが流れます。
ガイダンスに従ってご希望の窓口に該当する番号をプッシュしてください。

電話番号は、お間違えのないよう、ご確認の上おかけください。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。
ご相談の内容により、別のサポート窓口をご案内する場合がございます。

技術相談窓口受付時間：9：00〜19：00（年中無休）
修理相談窓口受付時間：9：00〜22：00（年末年始12/31〜1/3を除く）

インターネットもご利用ください。

http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm

インターネットで修理のお申し込み

http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/i_repair.htm

お問い合わせの詳細は、『東芝PCサポートのご案内』をご参照ください。
お客様からいただく個人情報（お名前や連絡先など）は、ご相談の対応、修理対応、サービス向上施策のために使用させていただきます。利用目的の範囲内で、お客様の個人情報を当社グループ会社や委託業者が使用することがございます。お客様は、お客様ご本人の個人情報について、開示、訂正、削除をご請求いただけます。その際は、東芝PCあんしんサポートまでご連絡ください。
お客様の個人情報の取り扱い全般に関する当社の考えかたをご覧になりたいかたは、(株)東芝の個人情報保護方針のページ（http://www.toshiba.co.jp/privacy/index_j.htm）をご覧ください。
16歳未満のお客様は、保護者のかたの同意を得た上でお問い合わせください。

・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・落丁、乱丁本は、お取り換えいたします。
　東芝 PC あんしんサポートにお問い合わせください。

WT301/Dシリーズ

取扱説明書

平成24年1月13日　第1版発行　GX1C000XW220

発行　株式会社東芝　デジタルプロダクツ&サービス社

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

取扱説明書

PRINTED WITH SOYINK™ この取扱説明書は植物性大豆油インキを使用しております。
この取扱説明書は再生紙を使用しております。

東芝PC総合情報サイト
http://dynabook.com/

株式会社 東芝 デジタルプロダクツ&サービス社

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

GX1C000XW220
Printed in China